金医大病管第 14 号平成 29 年 10 月 5 日

厚生労働大臣

殿

学校法人 金沢医科大学 理 事 長 髙島 茂樹 (印)

#### 金沢医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、平成28年度の業務に関して報告します。

記

#### 1 開設者の住所及び氏名

| - 3 | ו אונייו | <del></del> |                              |
|-----|----------|-------------|------------------------------|
|     | 住        | 所           | 〒920-0293 石川県河北郡内灘町字大学1丁目1番地 |
|     | 氏        | 名           | 学校法人 金沢医科大学                  |

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には 法人の名称を記入すること。

### 2 名 称

金沢医科大学病院

## 3 所在の場所

〒920-0293

石川県河北郡内灘町字大学1丁目1番地

電話(076)286-3511

## 4 診療科名

### 4-1 標榜する診療科名の区分

- ①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
- 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
- (注) 上記のいずれかを選択し、番号に〇印を付けること。

### 4-2 標榜している診療科名

(1)内科

- (注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に〇印を付けること。
  - 2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

#### (2)外科

| 外科                                   | 宿 · 無       |
|--------------------------------------|-------------|
| 外科と組み合わせた診療科名                        |             |
| ①呼吸器外科 2消化器外科 3乳腺外科 4心臟外科 5血管外科 ⑥ 心臟 | 黄血管外科 7内分泌外 |
| ⑧ 小児外科                               |             |
| 診療実績                                 |             |
| 形成外科                                 |             |
|                                      |             |
|                                      |             |

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に〇印を付けること。
  - 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。
- (3) その他の標榜していることが求められる診療科名
  - ① 精神科 ② 小児科 ③ 整形外科 ④ 脳神経外科 ⑤ 皮膚科 ⑥ 泌尿器科 7 産婦人科 ⑧ 産科 ⑨ 婦人科 ⑩ 眼科 ⑪ 耳鼻咽喉科 ⑫ 放射線科 13放射線診断科 14 放射線治療科 ⑰ 麻酔科 ⑩ 救急科
  - (注) 標榜している診療科名の番号に〇印を付けること。

### (4) 歯科

| 歯科                  | 旬 | • | 無 |
|---------------------|---|---|---|
| 歯科と組み合わせた診療科名       |   |   |   |
| ① 小児歯科 ② 矯正歯科 3口腔外科 |   |   |   |
| 歯科の診療体制             |   |   |   |
|                     |   |   |   |
|                     |   |   |   |
|                     |   |   |   |

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に〇印を付けること。
  - 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。
- (5)(1)~(4)以外でその他に標榜している診療科名

| (0) (2) | (3)001 (0)101-100 | 1/4 0 | * • • • • • • • • • • • • • • • • • • • |    |    |    |  |
|---------|-------------------|-------|---|----|----|----|--|
| 1 U     | 「ハビリテーション科        | 2     | 病理診断科                                   | 3  | 4  | 5  |  |
| 6       | 7 8               |       | 9                                       | 10 | 11 | 12 |  |
| 13      | 14 1              | 5     | 16                                      | 17 | 18 | 19 |  |
| 20      | 21                |       |   |    |    |    |  |

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

### 5 病床数

| 精 | 神   |   | 感染症 |   | 結 | 核 |   | 療 | 養 |   | 一般    |   | 合   | 計 |   |
|---|-----|---|-----|---|---|---|---|---|---|---|-------|---|-----|---|---|
|   | 3 6 | 床 | 0   | 床 |   | 0 | 床 |   | 0 | 床 | 7 9 9 | 床 | 8 3 | 5 | 床 |

## 6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成29年10月1日現在)

|    |  |       |      |        |         | ( 1 /9 | • • • • • • • • | <u> </u> |
|----|--|-------|------|--------|---------|--------|-----------------|----------|
| 職  | 種                                      | 常勤    | 非常勤  | 合 計    | 職種      | 員 数    | 職種              | 員 数      |
| 医  | 師                                      | 356人  | 98 人 | 405.6人 | 看護補助者   | 103 人  | 診療エックス線         | 人        |
|    |  |       |      |        |         |        | 技師              |          |
| 歯  | 科医師                                    | 9 人   | 1 人  | 9.1人   | 理学療法士   | 34 人   | 甌床 臨床検査技        | 67人      |
|    |  |       |      |        |         |        | 師               |          |
| 薬  | 剤 師                                    | 54 人  | 人    | 54人    | 作業療法士   | 16 人   | 衛生検査技           | 人        |
|    |  |       |      |        |         |        | 師               |          |
| 保  | 健 師                                    | 3 人   | 1 人  | 6.4人   | 視能訓練士   | 10 人   | その他             | 人        |
| 助  | 産 師                                    | 23 人  | 1 人  | 23.8人  | 義肢装具士   | 人      | あん摩マッサージ指圧師     | 人        |
| 看  | 護師                                     | 733 人 | 36 人 | 759.9人 | 臨床工学士   | 15 人   | 医療社会事業従         | 6人       |
|    |  |       |      |        |         |        | 事者              |          |
| 准え | 看護師                                    | 2 人   | 3 人  | 3.5人   | 栄 養 士   | 12 人   | その他の技術員         | 26人      |
| 歯科 | 衛生士                                    | 8 人   | 人    | 8 人    | 歯科技工士   | 3 人    | 事務職員            | 106人     |
| 管理 | 21 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | 16 人  | 人    | 16 人   | 診療放射線技師 | 36 人   | その他の職員          | 55人      |

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
  - 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
  - 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した 員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入 すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

### 7 専門の医師数

| / 守门000叫数 |      |          |       |
|-----------|------|----------|-------|
| 専門医名      | 人数   | 専門医名     | 人数    |
|           |      |          |       |
| 総合内科専門医   | 18 人 | 眼科専門医    | 5 人   |
| 外 科 専 門 医 | 19 人 | 耳鼻咽喉科専門医 | 8人    |
| 精神科専門医    | 5 人  | 放射線科専門医  | 6人    |
| 小児科専門医    | 10 人 | 脳神経外科専門医 | 6 人   |
| 皮膚科専門医    | 4 人  | 整形外科専門医  | 13 人  |
| 泌尿器科専門医   | 6 人  | 麻酔科専門医   | 9人    |
| 産婦人科専門医   | 6 人  | 救急科専門医   | 6人    |
|           |      | 合 計      | 121 人 |

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
  - 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。
- 8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名( 北山 道彦 ) 任命年月日 平成29年4月1日

医療安全管理委員会委員長、医療問題調查委員会委員長

# 9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

|              | 歯科等以外   | 歯 科 等 | 合 計     |
|--------------|---------|-------|---------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 622.7 人 | 3.5 人 | 626.2 人 |
| 1日当たり平均外来患者数 | 917.6 人 | 3 4 人 | 951.6 人 |
| 1日当たり平均調剤数   |         |       | 954.5 剤 |
| 必要医師数        |         |       | 123.7 人 |
| 必要歯科医師数      |         |       | 2.1 人   |
| 必要薬剤師数       |         |       | 21 人    |
| 必要(准)看護師数    |         |       | 347 人   |

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
  - 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦 日で除した数を記入すること。
  - 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
  - 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
  - 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

### 10 施設の構造設備

| fur   |
|-------|
| Æπr   |
| • 無   |
| ) • 無 |
| • 無   |
|       |
|       |
|       |
|       |
|       |
|       |
|       |
|       |
|       |
|       |
| 定包埋   |
| 全キャ   |
|       |
|       |
| ノッチ   |
|       |
|       |
|       |
| 人     |
|       |
| 呈度    |
|       |
| l     |

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
  - 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

## 11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

|   |            | 紹    | 介。  | <u> </u> |     |      | 66.      | 5 % | 逆 | 紹 | 介 | 率 | 6   | 3.  | 7 | % |
|---|------------|------|-----|----------|-----|------|----------|-----|---|---|---|---|-----|-----|---|---|
| 算 | Α          | : 紹  | 2   | 介        | 患   | 者    | の        | 数   |   |   |   |   | 9,  | 8 7 | 9 | 人 |
| 出 | В          | :他(  | の病院 | 三又は診     | 療所に | こ紹介し | た患者      | の数  |   |   |   |   | 10, | 3 8 | 2 | 人 |
| 根 | $^{\circ}$ | : 救急 | 即自  | 動車に      | よって | 搬入さ  | れた患者     | 旨の数 |   |   |   |   |     | 9 6 | 0 | 人 |
| 拠 | D          | : 初  | 診   | · 0      | 息   | 者    | <i>O</i> | 数   |   |   |   | • | 16, | 2 9 | 2 | 人 |

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。
  - 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。
  - 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

## 12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

|    | 名                          | 所属                      | 委員長<br>(○を付す) | 選定理由         | 利害関係 | 委員の要件<br>該当状況 |
|----|----------------------------|-------------------------|---------------|--------------|------|---------------|
| 山崎 | 光章富山大学附属病院麻酔科教授(医療安全担当副院長) |                         | 0             | 医療安全業務 従事者   | 有・無  | 1             |
| 鵜澤 | 剛                          | 金沢大学大学<br>院法務研究科<br>准教授 |               | 法律学業務<br>従事者 | 有・無  | 1             |
| 市川 | * 12 C                     |                         |               | 医療を受ける者      | 有・無  | 2             |

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
  - 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
  - 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
  - 3. その他

#### 13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理中の公表の状況

| 10 血且安良去仍安良石序及05安良仍远足垤田仍五衣仍依加 |     |
|-------------------------------|-----|
| 委員名簿の公表の有無                    | 御・無 |
| 委員の選定理由の公表の有無                 | 旬・無 |
| 公表の方法                         |     |
| 病院のホームページに掲載                  |     |
|                               |     |
|                               |     |

## 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

| 先進医療の種類            | 取扱患者数 |
|--------------------|-------|
| 多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術 | 35人   |
| LDLアフェレシス療法        | 2人    |
| 前眼部三次元画像解析         | 0人    |
|                    | 人     |
|                    | 人     |
|                    | 人     |
|                    | 人     |
|                    | 人     |
|                    | 人     |
|                    | 人     |
|                    | 人     |
|                    | 人     |
|                    | 人     |
|                    | 人     |
|                    | 人     |
|                    | 人     |
|                    | 人     |
|                    | 人     |
|                    | 人     |
|                    | 人     |

- (注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。
- (注)2「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

| 先進医療の種類                          | 取扱患者数 |
|----------------------------------|-------|
| 腹腔鏡下センチネルリンパ節生検                  | 2人    |
| 多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍の治療 褥瘡又は難治性皮膚潰瘍 | 0人    |
| インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法    | 0人    |
|                                  | 人     |
|                                  | 人     |
|                                  | 人     |
|                                  | 人     |
|                                  | 人     |
|                                  | 人     |
|                                  | 人     |
|                                  | 人     |
|                                  | 人     |
|                                  | 人     |
|                                  | 人     |
|                                  | 人     |
|                                  | 人     |
|                                  | 人     |
|                                  | 人     |
|                                  | 人     |
|                                  | 人     |

- (注)1「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。
- (注)2「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

### 3 その他の高度の医療

医療技術名 高度進行胃癌・根治切除困難胃癌に対する術前化学療法と胃癌根治手術 取扱患者数 15人

当該医療技術の概要 (一般・消化器外科)

高度な局所進展や広範なリンパ節転移のために根治切除が困難な胃癌症例の手術治療成績は不良である。しかし近年、 切除不能胃癌であっても化学療法で根治切除可能な状態に持ち込める症例が散見される。根治切除困難な胃癌を対象 に、外科切除に先立って術前化学療法を行い、根治切除率と生命予後の改善を目指している。

医療技術名 局所進行膵癌に対する術前放射線化学療法と根治手術 取扱患者数 10人

当該医療技術の概要 (一般・消化器外科)

膵臓癌は最も予後不良な癌の一つで、特に手術単独では殆ど根治的治療は望めない。局所進行あるいはボーダーライン 切除不能な膵臓癌に対して、術前放射線化学療法を施行し、その後に根治手術を組み合わせて行う集学的治療を施行し ている。

医療技術名 肺腫瘍に対する胸腔鏡下ICG蛍光ナビゲーション肺区域切除術に関する臨床研究 取扱患者数 13人

当該医療技術の概要 (呼吸器外科)

インドシアニングリーン(ICG) およびStorz Professional Image Enhancement System(SPIES)を用い、肺組織の血流量を可視化することで、適切な肺区域切除ラインを同定することが可能となる。

医療技術名 MRIとPETの両者の結果の解析による肺腫瘤の良悪性あよび病期の診断 取扱患者数 30人

当該医療技術の概要 (呼吸器外科)

肺腫瘤の非観血的診断に関してPET-CTは広く応用されているが、隣接臓器浸潤の診断以外の目的でMRIを併用すること は少ない。我々の研究では、MRIを併用することにより良悪性の診断のみならず、リンパ節転移の正診率が著明に向上する ことが判明した。非侵襲的な検査としてきわめて有用な検査となっている。

医療技術名 全身MRIによる原発性肺癌の血行性転移の検索 取扱患者数 20人

当該医療技術の概要 (呼吸器外科)

全身MRIによる病巣の質的診断は、我々の研究により原発性肺癌の血行性転移の発見にも期待が持てることが判明している。拡散強調画像を用いた全身MRIにより、肺癌の血行性転移病変の発見はより容易となっている。

医療技術名 | 希少メンデル遺伝性疾患の遺伝カウンセリングと遺伝子診断 取扱患者数 | 39人

当該医療技術の概要(遺伝子医療センター)

血管型エーラスダンロス症候群、ウイルソン病、甲状腺髄様癌(MEN2A)、レット症候群、ファブリー病、弾性線維性仮性黄色腫、シトリン欠損症、結節性硬化症、オスラー病などの疾患責任遺伝子が判明しているメンデル遺伝性疾患に対し、遺伝カウンセリングを行い、本人や家族の希望に沿う形で遺伝子検査を実施。検査結果は再診時に遺伝カウンセリングと並行して説明。紹介医と連携し、遺伝学的管理指針をレポートにして提供。患者の医療に役立てている。

医療技術名 微細染色体構造異常の遺伝カウンセリングとDNAマイクロアレイ検査 取扱患者数 12人

当該医療技術の概要(遺伝子医療センター)

多発先天奇形を対象に通常の染色体分析(G分染法)では診断できない微細染色体構造異常を、DNAマイクロアレイ検査を用いて診断している。診断の前後に遺伝カウンセリングを行い、患者家族に説明を行っている。また検査により合併症の予測が可能となる場合もあり、主治医と連携して治療にあたっている。

医療技術名 内視鏡下鼓室形成術 取扱患者数 40人

当該医療技術の概要(耳鼻咽喉科)

慢性中耳炎、真珠腫性中耳炎では従来、顕微鏡を用いる手術が行われてきたが、内視鏡を用いることにより、より視野が展開され、安全確実な手術が行えるようになった。当科では内視鏡および内視鏡と顕微鏡の併用で鼓室形成術を施行している。

医療技術名 鼻副鼻腔内視鏡手術V型(拡大副鼻腔手術) 取扱患者数 5人

当該医療技術の概要(耳鼻咽喉科)

前頭洞炎に対する前頭洞単洞化手術,また副鼻腔炎が頭蓋底および眼窩内に波及した場合に鼻副鼻腔経由にアプローチする方法である。

医療技術名 髄液細胞のフローサイトメトリーを用いた炎症性疾患の診断と治療

取扱患者数

129人

当該医療技術の概要(神経内科)

中枢神経内の炎症や免疫の状態は、通常髄液のルーチン検査として細胞数や蛋白、IgGの値から推定して病態を評価せざるを得ないのが現状である。しかし、髄液採取に際して一部の検体を低温下、低速遠心をかけて髄液細胞を回収し、その細胞の表面および内部の抗原をCD4. CD8, CD25, CD29, CD56, CCR3, CCR4, CCR5, CXCR3等に対するモノクローナル抗体で染色することにより、どのような役割を担ったリンパ球が髄液内で増加あるいは減少しているかを採取同日に知ることができる。この方法により、中枢神経内で起こっている炎症性病態を的確に把握し、正しい診断と治療選択に至ることを可能にしている。

医療技術名 腎生検組織モノクローナル抗体染色

取扱患者数

60人

当該医療技術の概要(腎臓内科)

従来、腎生検組織の検査は、光顕、電顕に加えて蛍光抗体による免疫グロブリン補体の染色のみが保険適用されてきたが、糸球体構成成分及び病態関連分子に対するモノクローナル抗体(C4d, C3d, HLA-DR, CoL4  $\alpha$  5/ $\alpha$  2, HLA-G1, CD45, CoL1)の検索によって、より高度の診断およびこれに基づいた治療が可能である.

医療技術名 自己免疫性および悪性腫瘍関連膜性腎症の診断と治療

取扱患者数

60人

当該医療技術の概要(腎臓内科)

膜性腎症の診断において、内因性抗原として膜型ホスホリパーゼ A2 受容体 (M-type phospholipase A2 receptor, PLA2R) および悪性腫瘍関連も指摘されているトロンボスポンディンタイプ1ドメインコンテイニング7A(Thrombospondin type-1 domain-containing 7A, THSD7A)および免疫グロブリンGサブクラスを組み合わせたより高度の質的診断およびこれに基づいた免疫抑制療法が可能である.

医療技術名 選択性血漿交換療法の自己免疫性疾患に対する治療応用

取扱患者数

10人

当該医療技術の概要(腎臓内科)

従来の血漿交換と比較して,より免疫グロブリンGを選択的に除去するとともにフィブリノーゲン等の高分子蛋白を保持する 新たな選択的血漿交換療法を自己抗体と関連する各種免疫疾患(膠原病,血液疾患,神経疾患,腎疾患)に適応するとと もに免疫抑制療法あるいは大量 γ グロブリン療法と組み合わせることでより有効かつ安全な治療が可能である。

医療技術名 顎矯正手術

取扱患者数

15人

当該医療技術の概要 (歯科口腔科)

顎顔面頭蓋の成長・発育異常による上下の骨格の不調和に歯の位置の異常が加わることにより、重度の咬み合わせの異常 と顔面の変形を呈する顎変形症に対して、歯科矯正治療と外科的な顎骨の骨切り手術を併用した外科的矯正手術を行っ ています。治療の対象は上顎前突症、下顎前突症、上下顎前突症、上顎後退症、下顎後退症、開咬症、顔面非対称です。

医療技術名 習慣性顎関節脱臼に対する局所麻酔下顎関節形成術

取扱患者数

4人

当該医療技術の概要 (歯科口腔科)

高度の認知症や高齢者の有病者などに対し、全身麻酔下における負担を軽減させるために局所麻酔下において習慣性顎 関節脱臼の治療法として関節結節(あるいはあわせて下顎頭の上部)を削除する方法である。

医療技術名 コンピューター支援による顎骨再建術

取扱患者数

3人

当該医療技術の概要 (歯科口腔科)

顎骨腫瘍などにより下顎骨を切除した際の金属プレートによる即時再建の際に、術前画像所見からコンピューターにより作成した3次元模型により、術前に再建金属プレートの形態調整を行い、手術時間を大幅に短縮する方法である。

## (注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

# 4 指定難病についての診療

| 4 拍正     | 難病についての診療             | 由士业       | Ι         | .+ ± 2                               | ㅁ + *       |
|----------|-----------------------|-----------|-----------|--------------------------------------|-------------|
| 4        | 疾 患 名                 | 患者数       |           | 疾患名                                  | <u> 患者数</u> |
| 1        | 球脊髄性筋萎縮症              | 4         | <u>56</u> | ベーチェット病                              | 38          |
| 2        | 筋萎縮性側索硬化症             | 24        | 57        | 特発性拡張型心筋症                            | 32          |
| 3        | 脊髄性筋萎縮症               | 3         | 58        | 肥大型心筋症                               | 7           |
| 4        | 原発性側索硬化症              | 0         | 59        | 拘束型心筋症                               | 0           |
| 5        | 進行性核上性麻痺              | 10        | 60        | 再生不良性貧血                              | 23          |
| 6        | パーキンソン病               | 137       | 61        | 自己免疫性溶血性貧血                           | 1           |
| 7        | 大脳皮質基底核変性症            | 11        | 62        | 発作性夜間ヘモグロビン尿症                        | 1           |
| 8        | ハンチントン病               | 0         | 63        | 特発性血小板減少性紫斑病                         | 41          |
| 9        | 神経有棘赤血球症              | 0         | 64        | 血栓性血小板減少性紫斑病                         | 0           |
| 10       | シャルコー・マリー・トゥース病       | 0         | 65        | 原発性免疫不全症候群                           | 2           |
| 11       | 重症筋無力症                | 49        | 66        | IgA 腎症                               | 29          |
| 12       | <u> </u>              | 0         | 67        | 多発性嚢胞腎                               | <u> </u>    |
|          |                       | 73        |           | 夕光                                   |             |
| 13       | 多発性硬化症/視神経脊髄炎         | /3        | 68        | 黄色靱帯骨化症                              | 10          |
| 14       | 慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運    | 11        | 69        | 後縱靱帯骨化症                              | 140         |
|          | 動ニューロパチー              |           |           |                                      |             |
| 15       | 封入体筋炎                 | 0         | 70        | 広範脊柱管狭窄症                             | 3           |
| 16       | クロウ・深瀬症候群             | 0         | 71        | 特発性大腿骨頭壊死症                           | 76          |
| 17       | 多系統萎縮症                | 34        | 72        | 下垂体性ADH分泌異常症                         | 6           |
| 18       | 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)   | 49        | 73        | 下垂体性ADH分泌異常症<br>下垂体性TSH分泌亢進症         | 3           |
| 19       | ライソゾーム病               | 2         | 74        | 下垂体性PRL分泌亢進症                         | 39          |
| 20       | 副腎白質ジストロフィー           | 1         | 75        | クッシング病                               | 13          |
| 21       | ミトコンドリア病              | 5         | 76        | 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症                     | 1           |
| 22       | キャント・クケック             | 27        | 77        | 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症                      | 32          |
| 23       | もやもや病<br>プリオン病        | 0         | 78        | 下垂体は成長がルモンガルルに近<br>下垂体前葉機能低下症        | <u>72</u>   |
| 23       |                       |           |           | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |             |
| 24       | <u> </u>              | 0         | 79        | 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)                 | 0           |
| 25       | 進行性多巣性白質脳症            | 0         | 80        | 甲状腺ホルモン不応症                           | 0           |
| 26       | HTLV-1関連脊髄症           | 0         | 81        | 先天性副腎皮質酵素欠損症                         | 4           |
| 27       | 特発性基底核石灰化症            | 0         | 82        | 先天性副腎低形成症                            | 1           |
| 28       | 全身性アミロイドーシス           | 5         | 83        | アジソン病                                | 0           |
| 29       | ウルリッヒ病                | 0         | 84        | サルコイドーシス                             | 57          |
| 30       | 遠位型ミオパチー              | 0         | 85        | 特発性間質性肺炎<br>肺動脈性肺高血圧症                | 25          |
| 31       | ベスレムミオパチー             | 0         | 86        | 肺動脈性肺高血圧症                            | 7           |
| 32       | 自己貪食空胞性ミオパチー          | 0         | 87        | 肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症                       | 0           |
| 33       | シュワルツ・ヤンペル症候群         | 0         | 88        | 慢性血栓塞栓性肺高血圧症                         | 12          |
| 34       | 神経線維腫症                | 14        | 89        | リンパ脈管筋腫症                             | 1           |
| 35       |                       |           |           | タック タック タック タック タック ファイル はん まかれ た    | 22          |
|          |                       | 4         | 90        | 網膜色素変性症                              | 23          |
| 36       | 表皮水疱症                 | 3         | 91        | バッド・キアリ症候群                           | 0           |
| 37       | 膿疱性乾癬(汎発型)            | 5         | 92        | 特発性門脈圧亢進症                            | 1           |
| 38       | スティーヴンス・ジョンソン症候群      | 1         | 93        | 原発性胆汁性肝硬変                            | 39          |
| 39       | 中毒性表皮壊死症              | 0         | 94        | 原発性硬化性胆管炎                            | 2           |
| 40       | 高安動脈炎                 | 19        | 95        | 自己免疫性肝炎                              | 4           |
| 41       | 巨細胞性動脈炎               | 0         | 96        | クローン病                                | 50          |
| 42       | 結節性多発動脈炎              | 13        | 97        | 潰瘍性大腸炎                               | 120         |
| 43       | 顕微鏡的多発血管炎             | 23        | 98        | 好酸球性消化管疾患                            | 1           |
| 44       | 多発血管炎性肉芽腫症            | 4         | 99        | 慢性特発性偽性腸閉塞症                          | <u>.</u>    |
| 45       | 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症        | 4         | 100       | 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症                      | 0           |
| 46       | <u> </u>              | 16        | 101       | <u> </u>                             | 0           |
| 40<br>47 | 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一 |           | 102       |                                      | 0           |
|          | バージャー病                | <u>20</u> |           | ルビンシュタイン・テイビ症候群                      |             |
| 48       | 原発性抗リン脂質抗体症候群         |           | 103       | CFC症候群                               | 0           |
| 49       | 全身性エリテマトーデス           | 116       | 104       | コステリ症候群                              | 0           |
| 50       | 皮膚筋炎/多発性筋炎            | 36        | 105       | チャージ症候群                              | 0           |
| 51       | 全身性強皮症                | 61        | 106       | クリオピリン関連周期熱症候群                       | 0           |
| 52       | 混合性結合組織病              | 17        | 107       | 全身型若年性特発性関節炎                         | 1           |
| 53       | シェーグレン症候群             | 47        | 108       | TNF受容体関連周期性症候群                       | 0           |
| 54       | 成人スチル病                | 2         | 109       | 非典型溶血性尿毒症症候群                         | 0           |
| 55       | 再発性多発軟骨炎              | 0         | 110       | ブラウ症候群                               | 0           |
|          |                       |           |           |                                      |             |

# 4 指定難病についての診療

| <u>4 指定</u> | 難病についての診療  |     |     |   |     |
|-------------|--|-----|-----|---|-----|
|             | 疾 患 名  | 患者数 |     | <u>疾  患  名</u>                          | 患者数 |
| 111         | 先天性ミオパチー   | 0   | 161 | 家族性良性慢性天疱瘡                              | 0   |
| 112         | マリネスコ・シェーグレン症候群                                  | 0   | 162 | 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)                      | 0   |
| 113         | 筋ジストロフィー   | 1   | 163 | 特発性後天性全身性無汗症                            | 0   |
| 114         | 非ジストロフィー性ミオトニー症候群                                | 0   | 164 | 眼皮膚白皮症                                  | 0   |
| 115         | 遺伝性周期性四肢麻痺                                       | 0   | 165 | 肥厚性皮膚骨膜症                                | 0   |
| 116         | アトピー性脊髄炎   | 0   | 166 | 弾性線維性仮性黄色腫                              | 1   |
| 117         | 脊髓空洞症  | 1   | 167 | マルファン症候群                                | Ö   |
| 118         |  | 0   | 168 | エーラス・ダンロス症候群                            | 0   |
| 119         | アイザックス症候群  | 1   | 169 | メンケス病                                   | 0   |
| 120         | 遺伝性ジストニア   | 0   | 170 | オクシピタル・ホーン症候群                           | 0   |
| 121         | 1814 はノヘトーナ                                      | 0   | 171 |   | 0   |
|             | 神経フェリチン症   |     |     | ウィルソン病                                  |     |
| 122         | 脳表へモジデリン沈着症                                      | 0   | 172 | 低ホスファターゼ症                               | 0   |
| 123         | 表頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性<br>白質脳症<br>皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優 | 0   | 173 | VATER症候群                                | 0   |
| 124         | 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優<br>性脳動脈症                      | 0   | 174 | 那須・ハコラ病                                 | 0   |
| 125         | 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性び<br>まん性白質脳症                   | 0   | 175 | ウィーバー症候群                                | 0   |
| 126         | ペリー症候群   | 0   | 176 | コフィン・ローリー症候群                            | 0   |
| 127         | 前頭側頭葉変性症   | 0   | 177 | 有馬症候群                                   | 0   |
| 128         | ビッカースタッフ脳幹脳炎                                     | 0   | 178 | モワット・ウィルソン症候群                           | 1   |
| 129         | 変撃重積型(二相性)急性脳症                                   | 0   | 179 | ウィリアムズ症候群                               | 0   |
| 130         | <u> </u>   | 0   | 180 |   | 0   |
|             | 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一            |     |     | ATRーX症候群                                |     |
| 131         | アレキサンダー病   | 0   | 181 | クルーゾン症候群                                | 0   |
| 132         | 先天性核上性球麻痺  | 0   | 182 |   | 0   |
| 133         | メビウス症候群  | 0   | 183 | ファイファー症候群                               | 0   |
| 134         | 中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群                              | 0   | 184 | アントレー・ビクスラー症候群                          | 0   |
| 135         | アイカルディ症候群  | 0   | 185 | コフィン・シリス症候群                             | 0   |
| 136         | 片側巨脳症  | 0   | 186 | ロスムンド・トムソン症候群                           | 0   |
| 137         | 限局性皮質異形成   | 0   | 187 |   | 0   |
| 138         | 神経細胞移動異常症  | 0   | 188 | 多脾症候群                                   | 0   |
| 139         | 先天性大脳白質形成不全症                                     | 0   | 189 | 無脾症候群                                   | 0   |
| 140         | ドラベ症候群   | 0   | 190 | 鰓耳腎症候群                                  | 0   |
| 141         | 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん                                 | 0   | 191 | ウェルナー症候群                                | 1   |
| 142         | ミオクロニー欠神てんかん                                     | 0   | 192 | コケイン症候群                                 | 0   |
| 143         | ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん                                | 0   | 193 | プラダー・ウィリ症候群                             | 0   |
| 144         | レノックス・ガスト一症候群                                    | 0   | 194 | ソトス症候群                                  | 0   |
| 145         | ウエスト症候群  | 0   | 195 | ヌーナン症候群                                 | 0   |
| 146         | 大田原症候群   | 0   | 196 | ヤング・シンプソン症候群                            | 0   |
| 147         | 早期ミオクロニー脳症                                       | 0   | 197 | 1p36欠失症候群                               | 0   |
| 148         | 正  | 1   | 198 | 4p欠失症候群                                 | 0   |
| 149         | 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群                                 | 0   | 199 |   | 0   |
| 150         |  | 0   | 200 | 第14番染色体父親性ダイソミー症候群                      | 0   |
|             | 環状20番染色体症候群                                      |     |     | - 第14首末 17年 入杭はアイノミー延15杆 - マンパーリット - 長野 |     |
| 151         | ラスムッセン脳炎   | 0   | 201 | アンジェルマン症候群                              | 0   |
| 152         | PCDH19関連症候群                                      | 0   | 202 | スミス・マギニス症候群                             | 0   |
| 153         | 難治頻回部分発作重積型急性脳炎                                  | 0   | 203 | 22q11.2欠失症候群                            | 0   |
| 154         | 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん<br>性脳症                        | 0   | 204 | エマヌエル症候群                                | 0   |
| 155         | ランドウ・クレフナー症候群                                    | 0   | 205 | 脆弱X症候群関連疾患                              | 0   |
| 156         | レット症候群   | 0   | 206 | 脆弱X症候群                                  | 0   |
| 157         | スタージ・ウェーバー症候群                                    | 1   | 207 | 総動脈幹遺残症                                 | 0   |
| 158         | 結節性硬化症   | 0   | 208 | 修正大血管転位症                                | 0   |
| 159         | 色素性乾皮症   | 0   | 209 | 完全大血管転位症                                | Ō   |
| 160         |  | 0   | 210 | 単心室症                                    | 0   |
| 100         | ノロノヘーエ /示/原子 /流汁                                 |     |     | ᅮᠾᆂᄴ                                    |     |

# 4 指定難病についての診療

| 4 拍足        | 難病についての診療<br><b>疾 患 名</b>      | 患者数 |     | 疾 患 名                          | 患者数 |
|-------------|--------------------------------|-----|-----|--------------------------------|-----|
| 011         | <b>1.</b> 1                    |     | 250 | レシチンコレステロールアシルトランスフェ           |     |
| 211         | 左心低形成症候群                       | 0   | 259 | ラーゼ欠損症                         | 0   |
| 212         | 三尖弁閉鎖症                         | 0   | 260 | シトステロール血症                      | 0   |
| 213         | 心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症              | 0   | 261 | タンジール病                         | 0   |
| 214         | 心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症                | 0   | 262 | 原発性高カイロミクロン血症                  | 0   |
| 215         | ファロー四徴症                        | 0   | 263 | 脳腱黄色腫症                         | 0   |
| 216         | 両大血管右室起始症                      | 0   | 264 | 無βリポタンパク血症                     | 0   |
| 217         | エプスタイン病                        | 0   | 265 | 脂肪萎縮症                          | 0   |
| 218         | アルポート症候群                       | 1   | 266 | 家族性地中海熱                        | 0   |
| 219         | ギャロウェイ・モワト症候群<br>急速進行性糸球体腎炎    | 0   | 267 | 高IgD症候群                        | 0   |
| 220         | 思 <u>思</u> 進行性糸塚体腎炎            | 5   | 268 | 中條・西村症候群                       | 0   |
| 221         | 抗糸球体基底膜腎炎                      | 1   | 269 | 化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アク<br>・ 水症候群  | 0   |
| 222         | 一次性ネフローゼ症候群                    | 25  | 270 | 慢性再発性多発性骨髄炎                    | 0   |
| 223         | 一次性膜性増殖性糸球体腎炎                  | 2   | 271 | 強直性脊椎炎                         | 2   |
| 224         | 紫斑病性腎炎                         | 2   | 272 | 進行性骨化性線維異形成症                   | 0   |
| 225         | <u> </u>                       | 0   | 273 | <u> 助骨異常を伴う先天性側弯症</u>          | 0   |
| 226         | 間質性膀胱炎(ハンナ型)                   | 0   | 274 | 骨形成不全症                         | 0   |
| 227         | オスラー病                          | 0   | 275 | タナトフォリック骨異形成症                  | 0   |
| 228         | 閉塞性細気管支炎                       | 0   | 276 | 軟骨無形成症                         | 0   |
| 229         | 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)              | 0   | 277 | リンパ管腫症/ゴーハム病                   | 0   |
| 230         | 肺胞低換気症候群                       | 0   | 278 | 巨大リンパ管奇形(頚部顔面病変)               | 0   |
| 231         | α1ーアンチトリプシン欠乏症                 | 0   | 279 | 巨大静脈奇形(頚部口腔咽頭びまん性病<br>変)       | 1   |
| 232         | カーニー複合                         | 0   | 280 | 巨大動静脈奇形(頚部顔面又は四肢病変)            | 0   |
| 233         | <u>ウォルフラム症候群</u>               | 0   | 281 | クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群           | 0   |
| 234         | ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロ<br>フィーを除く。) | 0   | 282 | 先天性赤血球形成異常性貧血                  | 0   |
| 235         | 副甲状腺機能低下症                      | 1   | 283 | 後天性赤芽球癆                        | 0   |
| 236         | 偽性副甲状腺機能低下症                    | 1   | 284 | ダイアモンド・ブラックファン貧血               | 0   |
| 237         | 副腎皮質刺激ホルモン不応症                  | 0   | 285 | ファンコニ貧血                        | 0   |
| 238         | ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症               | 0   | 286 | 遺伝性鉄芽球性貧血                      | 0   |
| 239         | ビタミンD依存性くる病/骨軟化症               | 0   | 287 | エプスタイン症候群                      | 0   |
| 240         | フェニルケトン尿症                      | 0   | 288 | 自己免疫性出血病XIII                   | 0   |
| 241         | 高チロシン血症1型                      | 0   | 289 | クロンカイト・カナダ症候群                  | 0   |
| 242         | 高チロシン血症2型                      | 0   | 290 | 非特異性多発性小腸潰瘍症                   | 1   |
| 243         | 高チロシン血症3型                      | 0   | 291 | <u>  ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸  </u> | 0   |
| 244         | <u>メープルシロップ尿症</u>              | 0   | 292 | 総排泄腔外反症                        | 1   |
| 245         | プロピオン酸血症                       | 0   | 293 | 総排泄腔遺残                         | 0   |
| 246         | メチルマロン酸血症                      | 0   | 294 | 先天性横隔膜ヘルニア                     | 0   |
| 247         | イソ吉草酸血症                        | 0   | 295 | 乳幼児肝巨大血管腫                      | 0   |
| 248         | グルコーストランスポーター1欠損症              | 0   | 296 | 胆道閉鎖症                          | 3   |
| 249         | グルタル酸血症1型                      | 0   | 297 | アラジール症候群                       | 2   |
| 250         | グルタル酸血症2型                      | 0   | 298 | 遺伝性膵炎                          | 0   |
| 251         | 尿素サイクル異常症                      | 0   | 299 | 囊胞性線維症                         | 0   |
| 252         | リジン尿性蛋白不耐症                     | 0   | 300 | IgG4関連疾患                       | 12  |
| 253         | 先天性葉酸吸収不全                      | 0   | 301 | 黄斑ジストロフィー                      | 0   |
| 254         | ポルフィリン症                        | 0   | 302 | レーベル遺伝性視神経症                    | 0   |
| 255         | 複合カルボキシラーゼ欠損症                  | 0   | 303 | アッシャー症候群                       | 0   |
| <u> 256</u> | <u> </u>                       | 0   | 304 | 若年発症型両側性感音難聴                   | 0   |
| 257         |                                | 0   | 305 | 遅発性内リンパ水腫                      | 0   |
| 258         | ガラクトースー1ーリン酸ウリジルトランス           | 0   | 306 | 好酸球性副鼻腔炎                       | 3   |
| _           | フェラーゼ欠損症                       |     |     |                                |     |

<sup>(</sup>注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

# 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

| ある は と り を り を り を り を と り を と り を を り を り を | 施設基準の種類                          |
|--|----------------------------------|
| •地域歯科診療支援病院歯科初診料                             | ・データ提出加算2                        |
| •歯科外来診療環境体制加算                                | ・退院支援加算2                         |
| ・歯科診療特別対応連携加算                                | • 認知症ケア加算                        |
| ・特定機能病院入院基本料 (一般7対1、精神13対1)                  | •精神疾患診療体制加算                      |
| ·診療録管理体制加算1                                  | •特定集中治療室管理料4<br>(広範囲熱傷特定集中治療管理料) |
| ·医師事務作業補助体制加算1(40対1)                         | ・新生児特定集中治療室管理料1                  |
| ・急性期看護補助体制加算 25対1(5割未満)                      | •新生児治療回復室入院医療管理料                 |
| •看護職員夜間配置加算2(12対1)                           | •小児入院医療管理料2                      |
| •看護補助加算1                                     | ・回復期リハビリテーション病棟入院料2              |
| •療養環境加算                                      | •                                |
| •重症者等療養環境特別加算                                | •                                |
| •無菌治療室管理加算1                                  | •                                |
| •無菌治療室管理加算2                                  | •                                |
| •精神病棟入院時医学管理加算                               | •                                |
| ·精神科身体合併症管理加算                                | •                                |
| ・精神科リエゾンチーム加算                                | •                                |
| <ul><li>・栄養サポートチーム加算</li></ul>               | •                                |
| ·医療安全対策加算1                                   | •                                |
| •感染防止対策加算1(地域連携加算)                           | •                                |
| ・褥瘡ハイリスク患者ケア加算                               | •                                |
| ・ハイリスク妊娠管理加算                                 | •                                |
| ・ハイリスク分娩管理加算                                 | •                                |
| •総合評価加算                                      | •                                |
| •後発医薬品使用体制加算2                                | •                                |
| •病棟薬剤業務実施加算1                                 |                                  |
| •病棟薬剤業務実施加算2                                 |                                  |

# 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

| 施設基準の種類                             | 施設基準の種類                              |
|-------------------------------------|--------------------------------------|
| ・高度難聴指導管理料                          | ・皮下連続式グルコース測定                        |
| ・糖尿病合併症管理料                          | ・光トポグラフィー                            |
| ・がん性疼痛緩和指導管理料                       | ・神経学的検査                              |
| ・がん患者指導管理料1、2、3                     | ・補聴器適合検査                             |
| <ul><li>移植後患者指導管理料(臓器移植後)</li></ul> | ・ロービジョン検査判断料                         |
| ・糖尿病透析予防指導管理料                       | ・コンタクトレンズ検査料1                        |
| ・院内トリアージ実施料                         | ・小児食物アレルギー負荷検査                       |
| • 外来放射線照射診療料                        | ・内服・点滴誘発試験                           |
| ・ニコチン依存症管理料                         | ・センチネルリンパ節生検(片側)                     |
| ・がん治療連携計画策定料                        | ・ C T 透視下気管支鏡検査加算                    |
| ・肝炎インターフェロン治療計画料                    | ・画像診断管理加算1・2                         |
| ・薬剤管理指導料                            | ・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピュー<br>ター断層複合撮影 |
| ・医療機器安全管理料1・2・歯科                    | ・CT撮影及びMRI撮影                         |
| ・歯科治療総合医療管理料                        | ・ 冠動脈 C T 撮影加算                       |
| • 在宅患者歯科治療総合医療管理料                   | ·心臓MR I 撮影加算                         |
| ・持続血糖測定器加算                          | ・乳房MR I 撮影加算                         |
| ・遺伝学的検査                             | • 抗悪性腫瘍剤処方管理加算                       |
| ・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)       | ・外来化学療法加算 1                          |
| ・検体検査管理加算 (IV)                      | ・無菌製剤処理料                             |
| ・遺伝カウンセリング加算                        | ・心大血管疾患リハビリテーション料(I)                 |
| ・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算           | ・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)                 |
| ・植込型心電図検査                           | <ul><li>運動器リハヒ*リテーション料 (I)</li></ul> |
| ・時間内歩行試験及びシャトルウォーキング                | <ul><li>・呼吸器リハビリテーション料 (I)</li></ul> |
| ・胎児心エコー法                            | ・がん患者リハビリテーション料                      |
| ・ヘッドアップティルト試験                       | ・歯科口腔リハビリテーション料2                     |
| ・人工膵臓検査・人工膵臓療法                      | • 救急患者精神科継続支援料                       |

# 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

| 施設基準の種類   | 施設基準の種類  |
|---|--|
| ・認知療法・認知行動療法  | ・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)(高速<br>回転式経皮経管アテレクトミーカテーテルによるもの) |
| ・精神科作業療法  | ・経皮的中隔心筋焼灼術  |
| ・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症<br>治療指導管理料)                             | ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術                                  |
| • 医療保護入院等診療料  | ・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術                            |
| ・硬膜外自家血注入   | ・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈<br>電極抜去術                     |
| ・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)  | ・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシン<br>グ機能付き植込型除細動器交換術        |
| ・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)   | ・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)                                    |
| · 透析液水質確保加算 2   | ・補助人工心臓  |
| ・下肢末梢動脈疾患指導管理加算   | ・体外衝撃波胆石破砕術  |
| ・CAD/CAM冠   | ・腹腔鏡下肝切除術(部分切除及び外側区域切除)                                  |
| ・歯科技工加算   | ・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術   |
| ・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加<br>算)                                    | ・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術   |
| ・組織拡張器による再建手術(一連につき) (乳房(再建手<br>術))                                 | ・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術  |
| ・腫瘍脊椎骨全摘術   | ・腎腫瘍凝固・焼灼術 (冷凍凝固によるもの)                                   |
| ・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植<br>術に限る。)                                 | ・同種死体腎移植術  |
| ・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うもの)  | ・生体腎移植術  |
| ・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺<br>激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術          | ・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)                         |
| ・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))                                  | ・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を<br>含む。)                      |
| ・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導<br>補聴器交換術                               | ・輸血管理料 I   |
| ・内視鏡下鼻・副鼻腔手術 V型 (拡大副鼻腔手術)   | ・輸血適正使用加算  |
| ・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合)(歯科診療以外の診療に係るもの)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合)(歯科診療以外の診療に係るもの。) | ・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算                                       |
| ・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合)(歯科診療に係るもの)、下顎<br>骨形成術(骨移動を伴う場合)(歯科診療に係るもの)        | ・胃瘻造設時嚥下機能評価加算   |
| 内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)<br>術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術 | ・歯周組織再生誘導手術  |
| ・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1及び乳がんセンチネルリンパ節加算2)                         | ・広範囲顎骨支持型装置埋入手術  |
| ・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わない<br>もの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))     | ・麻酔管理料 (I)・(II)  |
| ・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)   | ・放射線治療専任加算   |

# 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

| 施設基準の種類  | 施設基準の種類 |
|--|---------|
| ・外来放射線治療加算   |         |
| ・高エネルギー放射線治療   |         |
| ・強度変調放射線治療 (IMRT)                                      |         |
| ・画像誘導放射線治療加算(IGRT)                                     |         |
| ・体外照射呼吸性移動対策加算   | •       |
| ・定位放射線治療   | •       |
| ・定位放射線治療呼吸性移動対策加算                                      | •       |
| ・保険医療機関間の連携による病理診断                                     | •       |
| ・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製                                | •       |
| ・テレパソロジーによる術中迅速細胞診                                     | •       |
| · 病理診断管理加算 2   | •       |
| ・クラウン・ブリッジ維持管理料  | •       |
| ・歯科矯正診断料   | •       |
| ・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの) | •       |
| •  | •       |
| •  | •       |
| •  | •       |
| •  | •       |
| •  | •       |
| •  | •       |
|  | •       |
| •  | •       |
|  | •       |
| •  | •       |
| •  | •       |
| •  | •       |

## (様式第2)

# 高度の医療の提供の実績

## 7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

| 施設基準等の種類                   | 施設基準等の種類 |
|----------------------------|----------|
| ・実物大臓器立体モデルによる手術計画         | •        |
| ・インプラント義歯                  | •        |
| •內視鏡的大腸粘膜下層剥離術             | •        |
| ・画像支援ナビゲーション手術             | •        |
| •胎児心超音波検査                  | •        |
| ・光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助 | •        |
| •硬膜外自家血注入療法                | •        |
| •                          | •        |
| •                          | •        |
| •                          | •        |
| •                          | •        |
| •                          | •        |
| •                          | •        |
| •                          | •        |
| •                          | •        |

# 8 病理・臨床検査部門の概要

| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況                    | 1) 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。<br>2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 |
|---|--|
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催<br>した症例検討会の開催頻度 | 月5回程度実施(H28年度開催実績56回)                                      |
| 剖検の状況                                   | 剖検症例数 33 例 / 剖検率 12.6 %                                    |

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

<sup>(</sup>注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

<sup>(</sup>注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

# 1 研究費補助等の実績

| 1 研究費補助等の実績                                      | 1     |      |             | •     |                       |               |                |
|--|-------|------|-------------|-------|-----------------------|---------------|----------------|
| 研 究 課 題 名  | 研究者   | 氏名   | 属 部 門       | 金     | 額                     | 補助            | カ元又は委託元        |
| 現代の飲食物が関与する細胞内毒性終末糖<br>化産物の生成/蓄積と各種細胞障害機序の<br>解明 | 竹内 正義 | 先端   | 医療研究領域      | 或 ¥8, | 700, 000              | 補委            | (独)日本学術振<br>興会 |
| 分化リプログラム技術を用いたマウス及び<br>ヒト貪食細胞の樹立とその応用            | 小内 伸幸 | 免疫   | 学           | ¥4,   | 500, 000              | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 母胎間シグナル伝達による胎児大脳皮質インターニューロンの産生誘導機構               | 八田 稔久 | 解剖   | J学 I        | ¥7,   | 800, 000              | 種委            | (独)日本学術振<br>興会 |
| おとり遺伝子による多分子同時阻害を標的<br>とした純国産型癌遺伝子治療法の開発         | 石橋 浩晃 | 顎口   | 腔外科学        | ¥4,   | 000, 000              | 種委            | (独)日本学術振<br>興会 |
| 携帯端末を用いた膀胱留置カテーテル閉塞<br>予防医師・看護師・介護者協働システムの<br>構築 | 前田 修子 | 看護   | 学部          | ¥2,   | 400, 000              | 衝委            | (独)日本学術振<br>興会 |
| DNA修復蛋白質53BP1の細胞表層への露出とアポトーシス細胞の腫瘍免疫原性獲得         | 岩淵 邦芳 | 生化   | :学 I        | ¥2,   | 500, 000              | 補委            | (独)日本学術振<br>興会 |
| 慢性低酸素性肺高血圧症の新規診断治療法<br>の開発 -高地居住者の分子遺伝学的解析-      | 水野 史朗 | 呼吸   | 器内科学        | ¥4,   | 800, 000              | 種委            | (独)日本学術振<br>興会 |
| へ、けなにおけるが、付持シンの胎児脳機能と乳幼児脳神経発達に及ぼす影響              | 西条 旨子 | 公衆   | 常生学         | ¥1,   | 400, 000              | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 細胞骨格接着分子プレクチンの放射線誘発<br>DNA損傷応答における新規機能の解明        | 松井 理  | 生化   | :学 I        | ¥1,   | 200, 000              | 衝委            | (独)日本学術振<br>興会 |
| リン酸化シグナルをターゲットにした非遺<br>伝毒性発がん物質スクリーニング法の開発       | 吉崎 尚良 | 小児   | !外科学        | ¥     | 900, 000              | 潘委            | (独)日本学術振<br>興会 |
| 中枢神経における細胞内M1ムスカリン受容体の発現メカニズムと記憶・学習との関係          | 村松 郁延 | 薬理   | 学           | ¥1,   | 300, 000              | 種委            | (独)日本学術振<br>興会 |
| 心血管イベントの予測因子としての脂質代<br>謝酵素動態の解明                  | 小林 淳二 | 総合   | `内科学        | ¥1,   | 100, 000              | 種委            | (独)日本学術振<br>興会 |
| 抗がん剤による膵がん細胞の浸潤形質獲得<br>の分子機構の解明とがん治療への応用         | 島崎 猛夫 | 先端   | 医療研究領域      | 或 ¥1, | 500, 000              | 衝委            | (独)日本学術振<br>興会 |
| 冠れん縮性狭心症の酸化ストレスに影響を<br>及ぼす新たな危険因子の特定             | 河合 康幸 | 循環   | 器内科学        | ¥1,   | 000, 000              | 舗委            | (独)日本学術振<br>興会 |
| 急性肺傷害におけるリゾリン脂質の解析と<br>同アシル基転移酵素遺伝子導入の効果         | 長内 和弘 | 呼吸   | 器内科学        | ¥1,   | 000, 000              | 種             | (独)日本学術振<br>興会 |
| 脱ユビキチン化酵素USP10による造血幹細胞<br>および白血病幹細胞維持機構の解明       | 樋口 雅也 | 微生   | 物学          | ¥1,   | 200, 000              | 補委            | (独)日本学術振<br>興会 |
| IgG4関連疾患の炎症性単球発現分子および<br>免疫グロブリン対応抗原の同定          | 正木 康史 | 血液   | 免疫内科学       | ¥1,   | 100, 000              | 補委            | (独)日本学術振<br>興会 |
| IgG4関連疾患の炎症の発生と収束にかかわる脂質メディエーターとそのバランス制御         | 岩男 悠  | 血液   | 免疫内科学       | ¥1,   | 400, 000              | <b>舗</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| プロテオミクスの手法を用いたIgG4関連疾患特異的に変動するタンパク質の機能解析         | 河南 崇典 | 血液   | 免疫内科学       | ¥1,   | 400, 000              | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 川崎病性血管炎が弾性血管のウインドケッセル機能に与える影響とその機序の解明            | 中村 常之 | 小児   | 科学          | ¥     | £500, 000             | 種季            | (独)日本学術振<br>興会 |
| ゼブラフィッシュによる薬物の発生毒性評価~マウス・ラットとの比較~                | 坂田 ひろ | み解剖  | l学 I        | ¥1,   | 000, 000              | <b>補</b> 委    | (独)日本学術振<br>興会 |
| 胎盤を介した分子シグナルリレーによる血<br>液脳関門形成制御機構の解明             | 島田 ひろ | き 解剖 | J学 I        | ¥     | <sup>4</sup> 600, 000 | <b>舗</b>      | (独)日本学術振<br>興会 |
| 頭頸部癌化学放射線療法における新たな画<br>像解析法による効果および予後予測法の確立<br>立 | 的場 宗孝 | 放射   | <b> 線医学</b> | ¥1,   | 300, 000              | 種             | (独)日本学術振<br>興会 |
| ステロイド誘発骨壊死分子機構の実証: Cre<br>依存性細胞特異的遺伝子欠損マウスの応用    | 市堰 徹  | 整形   | 外科学         | ¥1,   | 600, 000              | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |

| がん患者の睡眠改善を目的としたタク<br>ティールケア介入と効果実証               | 坂井  | 恵子  | 看護学部        | ¥700, 0    | 00 番     | (独)日本学術振<br>興会 |
|--|-----|-----|-------------|------------|----------|----------------|
| 看護教員が授業研究について体系的に学ぶ<br>ためのプログラムの開発               | 池内  | 里美  | 看護学部        | ¥700, 0    | 00 種     | (独)日本学術振<br>興会 |
| 女性冷え症の東洋医学的所見と生体指標と<br>の関連及び冷え症ケアの効果検証 の研究       | 柳原  | 真知子 | 看護学部        | ¥500, 0    | (油)      | (独)日本学術振<br>興会 |
| 認知症家族介護者の介護技術としてタク<br>ティールケアを導入した支援プログラムの<br>開発  | 小泉  | 由美  | 看護学部        | ¥500, 0    | 緬        | (独)日本学術振<br>興会 |
| DNA損傷を負った細胞が生死の運命を決<br>定する時期と要因の解明               | 橋本  | 光正  | 一般教育機構      | ¥1, 000, 0 | 00 (補) 委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 体力向上と体力に関する知識を理解させる<br>ことを意図した球技の指導計画の有効性        | 津田  | 龍佑  | 一般教育機構      | ¥1, 100, 0 | 00 (補) 委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 転写因子Tfcp2।1を介した129系統マウスES<br>細胞の安定な自己複製機構        | 大塚  | 哲   | 生命科学研究領域    | ¥1, 300, 0 | 00 (補) 委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| ヒト海馬の分節性と血管の分布様式におけ<br>る三次元的解析                   | 木南  | 利栄子 | 解剖学Ⅱ        | ¥2, 300, 0 | 李        | (独)日本学術振<br>興会 |
| メンデル遺伝病の補完遺伝子検査システム<br>の構築と遺伝医療における社会実装          | 新井田 | 要   | 先端医療研究領域    | ¥1, 500, 0 | 00 (補) 委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 社会経済格差とがん検診発見、早期診断お<br>よび生存率との関連                 | 西野  | 善一  | 公衆衛生学       | ¥1, 700, 0 | 00 (補) 委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 大規模職業集団における定年退職前後の生活習慣、保健行動の変化に関する検討             | 中島  | 素子  | 看護学部        | ¥1, 600, 0 | <b>李</b> | (独)日本学術振<br>興会 |
| オキサリプラチンの血液・神経毒性に対する人参養栄湯の臨床効果とその分子機構            | 元雄  | 良治  | 腫瘍内科学       | ¥1, 800, 0 | 00 種     | (独)日本学術振<br>興会 |
| SM胃癌に対するセンチネルナビゲーション<br>下内視鏡的全層切除術の開発            | 伊藤  | 透   | 消化器内視鏡学     | ¥1, 200, 0 | 00 (補) 委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 糖尿病性心筋症の心筋組織中の終末糖化産物と酸化ストレスの関係                   | 青木  | 洋文  | 循環器内科学      | ¥1, 500, 0 | 委        | (独)日本学術振<br>興会 |
| 慢性閉塞性肺疾患における気腫多様性と治療反応性に関する分子生物学的解析              | 水野  | 史朗  | 呼吸器内科学      | ¥1, 300, 0 | 00 (補) 委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 摂食調節因子nesfatin-1による脂肪組織交感神経活性化機構の解析              | 谷田  | 守   | 生理学Ⅱ        | ¥1, 200, 0 | 妥        | (独)日本学術振<br>興会 |
| 塩化ラジウムー223治療におけるリンパ球<br>DNA損傷に関する研究              | 渡邉  | 直人  | 放射線医学       | ¥1, 100, 0 | 委        | (独)日本学術振<br>興会 |
| 新しい全身性拡散強調画像と見かけの拡散<br>係数の肺癌診療への応用とその背景病態の<br>解明 | 薄田  | 勝男  | 呼吸器外科学      | ¥1, 300, 0 | 委        | (独)日本学術振<br>興会 |
| 光遺伝学を応用した下丘聴覚神経路の音情<br>報処理回路の解析                  | 小野  | 宗範  | 生理学 I       | ¥2, 200, 0 | 委        | (独)日本学術振<br>興会 |
| 新規画像評価法による嗅覚障害からアルツ<br>ハイマー病早期診断法の開発             | 三輪  | 高喜  | 耳鼻咽喉科学      | ¥700, 0    | 李        | (独)日本学術振<br>興会 |
| 眼部紫外線被ばく量指標としての瞼裂斑程<br>度と老視発症との関係                | 初坂  | 奈津子 | 眼科学         | ¥1, 400, 0 | 李        | (独)日本学術振<br>興会 |
| 太陽光被ばく指標としての初期瞼裂斑による近視発症リスク評価                    | 佐々木 | - 洋 | 眼科学         | ¥1, 200, 0 | 00 (補) 委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| アナフィラキシーショックにおける<br>Angiopoietin 2の役割            | 芝本  | 利重  | 生理学Ⅱ        | ¥1, 100, 0 | <b>李</b> | (独)日本学術振<br>興会 |
| スフィンゴミエリン合成酵素を標的とした<br>口腔癌のリンパ節転移阻害機序の解明         | 松本  | 剛—  | 顎口腔外科学      | ¥1, 300, 0 | 麥        | (独)日本学術振<br>興会 |
| 占領期の養護教諭構想に対するPHW看護<br>課の介入 -GHQ文書による検証-         | 滝内  | 隆子  | 看護学部        | ¥1, 000, 0 | 女        | (独)日本学術振<br>興会 |
| 開発   | 浅野  | きみ  | 看護学部        | ¥1, 400, 0 | 麥        | (独)日本学術振<br>興会 |
| 抗がん剤治療を受ける患者の静脈穿刺困難<br>をなくす-硬結の予防のための新戦略の開発<br>- | 松井  | 優子  | 看護学部        | ¥1, 100, 0 | 00 (補) 委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| <del></del>                                      |     |     | <del></del> |            |          |                |

| アクションリサーチに基づいた成人2型糖尿病患者のレジリエンス教育プログラムの開発         | 村角  | 直子        | 看護学部       | ¥700,    | 000 | 種季            | (独)日本学術振<br>興会 |
|--|-----|-----------|------------|----------|-----|---------------|----------------|
| 深部静脈血栓症予防用弾性ストッキングに<br>よる圧迫創傷予防のためのケアシステムの<br>構築 | 木下  | 幸子        | 看護学部       | ¥2, 400, | 000 | <b>舗</b><br>季 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 分娩介助における安全管理教育モデルの具現化:アウトカム指標の開発                 | 岩谷  | 久美子       | 看護学部       | ¥1, 400, | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 生活圏内での感染症媒介昆虫(蚊)とヒト<br>の接触頻度と患者数の関係              | 村上  | 学         | 医動物学       | ¥600,    | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 食べ方の指導による嗅神経再生効果の画像<br>解析研究                      | 志賀  | 英明        | 耳鼻咽喉科学     | ¥1, 000, | 000 | 補委            | (独)日本学術振<br>興会 |
| 高齢者の転倒防止における看護実践能力育成のための評価指標の開発                  | 平松  | 知子        | 看護学部       | ¥700,    | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 霊長類コモン・マーモセットを用いた味覚<br>ブレイン-マシン・インターフェースの開発      | 薗村  | 貴弘        | 解剖学Ⅱ       | ¥900,    | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| ヒト幹細胞由来心筋細胞における自動能機<br>序の解明とバイオペースメーカーシステム<br>設計 | 倉田  | 康孝        | 生理学Ⅱ       | ¥700,    | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 末梢性代謝型グルタミン酸受容体による熱<br>痛覚過敏および鈍麻の分子機構解明          | 西尾  | 眞友        | 薬理学        | ¥700,    | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| COMT不全がもたらす健康被害の分子機構解<br>明                       | 金﨑  | 啓造        | 糖尿病・内分泌内科学 | ¥1, 200, | 000 | 補<br>委        | (独)日本学術振<br>興会 |
| 細胞膜スフィンゴ脂質のラフト形成を介した肺腺癌浸潤・転移への関与の解明              | 田   | 善道        | 病理学Ⅱ       | ¥800,    | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| Saffold ウイルス感染は自己免疫疾患(特に I 型糖尿病)のトリガーとなるか?       | 姫田  | 敏樹        | 微生物学       | ¥1, 200, | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 悪性中皮腫におけるATBF1リン酸化状態と細胞内局在-悪性度との関連性の究明-          | 湊 宏 | <u> </u>  | 臨床病理学      | ¥1, 000, | 000 | 種             | (独)日本学術振<br>興会 |
| 日本人労働者の職業性ストレスと脳・心血<br>管疾患発症の関係                  | 石崎  | 昌夫        | 衛生学        | ¥900,    | 000 | 補委            | (独)日本学術振<br>興会 |
| 体組成と健診データの疫学的関連に基づく<br>サルコペニア肥満のスクリーニング方法の<br>開発 | 櫻井  | 勝         | 衛生学        | ¥400,    |     | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| GLP-1による神経性インスリン分泌促進機構の解明と2型糖尿病治療への応用            | 西澤  | 誠         | 糖尿病・内分泌内科学 | ¥500,    | 000 | _             | (独)日本学術振<br>興会 |
| 赤血球造血系と鉄代謝制御系のクロストークの解析                          | 川端  | 浩         | 血液免疫内科学    | ¥1, 000, | 000 | 種委            | (独)日本学術振<br>興会 |
| スキルス胃癌の癌間質増生と癌性腹膜炎発<br>症機構の本態解明                  | 安本  | 和生        | 腫瘍内科学      | ¥1, 100, | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 胎盤栄養膜細胞の浸潤能獲得におけるガレ<br>クチンファミリーによる制御機構           | 東海林 | <b>博樹</b> | 一般教育機構     | ¥1, 100, | 000 | 種委            | (独)日本学術振<br>興会 |
| 後発白内障における水晶体上皮間葉系移行<br>と水晶体再生制御機構の解明             | 久保  | 江理        | 眼科学        | ¥1, 000, | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| スキンケアの深化:スキンテア(皮膚裂傷)予防システムの構築                    | 紺家  | 千津子       | 看護学部       | ¥900,    |     | <b>舗</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| イオンチャネルを介したオメガ-3不飽和脂肪酸のアルツハイマー病脳改善作用             | 田嶋  | 信義        | 生理学 I      | ¥800,    | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| コンタクトレンズの装用はミリ波ばく露誘<br>発眼障害を増悪させるか               | 小島  | 正美        | 看護学部       | ¥700,    | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| アポトーシス細胞におけるクロマチンの細胞表層露出のメカニズム解明                 | 岩淵  | 邦芳        | 生化学 I      | ¥1, 200, |     | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 働く世代のがん患者が抱える社会的問題の<br>評価尺度とスクリーニングによる介入法の<br>開発 | 久村  | 和穂        | 腫瘍内科学      | ¥800,    | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| ダイオキシンによる自閉症スペクトラム障害とミラーニューロン系活動との関連             | 西条  | 旨子        | 公衆衛生学      | ¥600,    |     | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 母胎間シグナルトランスミッターの構造解<br>析                         | 八田  | 稔久        | 解剖学 I      | ¥1, 200, | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
|  |     |           |            |          |     |               |                |

| 日本ル党庫はナ巫は7銭/史老の沙庫し詳                              | T  |     | т т        |          | 1/1    | <i>A</i>                               |                |
|--|----|-----|------------|----------|--------|--|----------------|
| 外来化学療法を受けるがん患者の治療と就<br>労の両立支援モデルの開発              | 北村 | 佳子  | 看護学部       | ¥1, 200, | 000    | ^                                      | (独)日本学術振<br>興会 |
| 糖分の過剰摂取が小胞体異常を惹起し非ア<br>ルコール性脂肪肝炎を引き起こす           | 上田 | 忠司  | 先端医療研究領域   | ¥1, 700, | \      | <b>通</b><br>委                          | (独)日本学術振<br>興会 |
| マイクロキメリズムと癌化の検証                                  | 清川 | 悦子  | 病理学 I      | ¥2, 800, | WW     | <b>捕</b><br>委                          | (独)日本学術振<br>興会 |
| 内皮細胞オートファジー不全が糖尿病腎線<br>維化において演じる分子機構の解明          | 古家 | 大祐  | 糖尿病・内分泌内科学 | ¥1, 100, | 000    | 働                                      | (独)日本学術振<br>興会 |
| RNA結合因子を標的とした神経膠腫予後マーカー開発                        | 中村 | 有香  | 生命科学研究領域   | ¥1, 500, |        | 通委                                     | (独)日本学術振<br>興会 |
| 腸神経堤由来細胞の細胞遊走をガイドする<br>神経-周辺組織間コミュニケーションの探索      | 河野 | 美幸  | 小児外科学      | ¥1, 600, | UUUI 1 | <b>働</b>                               | (独)日本学術振<br>興会 |
| 幼児の喘息疾患管理アドヒアランス向上の<br>ための支援モデル開発                | 土師 | しのぶ | 看護学部       | ¥1, 100, | WW     | 捕委                                     | (独)日本学術振<br>興会 |
| 医療処置を要する在宅療養者と支援者による災害備えチェックシートの開発               | 中井 | 寿雄  | 看護学部       | ¥900,    | 1000   | ~                                      | (独)日本学術振<br>興会 |
| 細胞ストレス応答反応の解析から挑む「過食」の分子メカニズム                    | 岩脇 | 隆夫  | 生命科学研究領域   | ¥1, 400, | 000    | ~                                      | (独)日本学術振<br>興会 |
| ユビキチン依存的DNA-PK活性化が導く抗が<br>ん剤感受性のメカニズム解明          | 逆井 | 良   | 生化学 I      | ¥900,    | 1000   | 조                                      | (独)日本学術振<br>興会 |
| 生活習慣病を予見する新しい糖化蛋白質の<br>同定、および疾患予防食品成分の探索         | 逆井 | 亜紀子 | 先端医療研究領域   | ¥900,    | UUUI   | 動委                                     | (独)日本学術振<br>興会 |
| 安全・安心な分娩管理に向けた助産師の意<br>思決定支援システムの開発              | 山崎 | 智里  | 看護学部       | ¥700,    | OOO    | 捕)<br>委                                | (独)日本学術振<br>興会 |
| 生体金属イオンシグナルによる新規サイト<br>カイン産生制御機構の解明              | 和田 | 俊樹  | 免疫学        | ¥1, 300, | UUUI   | <b>博</b><br>委                          | (独)日本学術振<br>興会 |
| ストレス性精神疾患における細胞内ムスカリンM1受容体の役割                    | 益岡 | 尚由  | 薬理学        | ¥1, 200, | UUUI - | 捕)<br>委                                | (独)日本学術振<br>興会 |
| 前頚部軟部組織持続陰圧負荷による閉塞型<br>睡眠時無呼吸の新しい治療法の開発          | 斎藤 | 雅俊  | 呼吸器内科学     | ¥1, 200, | WW     | 動委                                     | (独)日本学術振<br>興会 |
| 胎児大脳皮質発生調節機構における胎盤<br>TLR3の役割の解明                 | 塚田 | 剛史  | 脳神経外科学     | ¥1, 400, | OOO    | 捕)<br>委                                | (独)日本学術振<br>興会 |
| 統合失調症の非罹患同胞における包括的中間表現型解析                        | 大井 | 一高  | 精神神経科学     | ¥1, 800, | UUUI   | <b>捕</b><br>委                          | (独)日本学術振<br>興会 |
| 低エストロゲンがマウス嗅上皮細胞に及ぼす影響に関する研究                     | 山田 | 健太郎 | 耳鼻咽喉科学     | ¥1, 300, | 000    | 捕鱼                                     | (独)日本学術振<br>興会 |
| 後発白内障におけるプロテオグリカン・デ<br>コリンの関係と機能解析               | 柴田 | 伸亮  | 眼科学        | ¥1, 300, | 000    | )                                      | (独)日本学術振<br>興会 |
| ロ腔癌の浸潤性増殖における細胞膜活性脂質の役割                          | 加藤 | 晃一郎 | 顎口腔外科学     | ¥900,    | 000    | 働                                      | (独)日本学術振<br>興会 |
| 重症意思表示困難患者の c u e の理解による身体ニーズアセスメント尺度の開発         | 山田 | 奈津子 | 看護学部       | ¥700,    | UUUI   | <b>捕</b><br>委                          | (独)日本学術振<br>興会 |
| ストレングスモデルに基づく行動制限最小<br>化看護介入の開発に関する研究            | 長山 | 豊   | 看護学部       | ¥800,    | 000    | 捕鱼                                     | (独)日本学術振<br>興会 |
| DNA損傷修復蛋白質XRCC4の脱リン酸化がアポトーシス促進の引き金となるか           | 砂谷 | 優実  | 生化学 I      | ¥800,    | 000    | 逋                                      | (独)日本学術振<br>興会 |
| ミトコンドリアの恒常性維持を基盤とした<br>サーチュインの糖尿病腎症に対する意義の<br>解明 | 渡邉 | 愛   | 糖尿病・内分泌内科学 | ¥500,    | 000    | 11111111111111111111111111111111111111 | (独)日本学術振<br>興会 |
| レビー小体型認知症の新規画像診断システムの開発:高解像度イメージング技術の応用          | 奥田 | 光一  | 一般教育機構     | ¥700,    | 000    | 働                                      | (独)日本学術振<br>興会 |
| 座位褥瘡を座位で治す革新的褥瘡ケア方法<br>の確立                       | 福田 | 守良  | 看護学部       | ¥500,    | 000    | 蒯                                      | (独)日本学術振<br>興会 |
| 老年期うつ病者の「レジリエンス」向上に<br>寄与する治療的看護実践の考案            | 田中 | 浩二  | 看護学部       | ¥700,    | 000    | )                                      | (独)日本学術振<br>興会 |
|  | •  |     |            |          |        |  |                |

|  |     |     |          |          |     | <i>(</i> )    |                |
|--|-----|-----|----------|----------|-----|---------------|----------------|
| 発達性協調運動障害児への課題指向型アプローチが自己認知に与える影響                | 村上  | 祐介  | 一般教育機構   | ¥400,    | 000 | <b>御</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 羊水塞栓症におけるアナフィラクトイド反応の関与に関する検討                    | 竹下  | 裕史  | 法医学      | ¥1, 100, | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 耳介形態異常の親子の苦痛を軽減する組織<br>学的根拠に基づく耳介矯正装具の開発         | 宮永  | 葵子  | 看護学部     | ¥1, 200, | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| DNA二本鎖損傷修復経路選択機構の解明とゲノム編集技術への応用                  | 逆井  | 良   | 生化学 I    | ¥250,    | 000 | 補季            | (独)日本学術振<br>興会 |
| ベトナムのダイオキシンや残留性有機汚染<br>物質の小児ステロイドホルモンへの長期的<br>影響 | 中川  | 秀昭  | 共同利用センター | ¥300,    | 000 | 種委            | (独)日本学術振<br>興会 |
| 降雪地域の高齢者の心身機能向上を目的と<br>した歩行機能サポートプログラムの構築と<br>評価 | 平松  | 知子  | 看護学部     | ¥100,    | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 日本型「ロボット共生社会の倫理」のトランスディシプリナリーな探求と国際発信            | 本田  | 康二郎 | 一般教育機構   | ¥258,    | 000 | 補<br>委        | (独)日本学術振<br>興会 |
| プリベンタブルデス (防ぎ得た死) の評価と対策                         | 和藤  | 幸弘  | 救急医学     | ¥800,    | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
|  | 松井  | 優子  | 看護学部     | ¥100,    | 000 | <b>舗</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| アジア太平洋地域における膜性腎症の診断・治療・疫学に関する調査研究                | 横山  | 仁   | 腎臓内科学    | ¥500,    | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
|  | 紺家  | 千津子 | 看護学部     | ¥50,     | 000 | 種委            | (独)日本学術振<br>興会 |
| 認知症高齢者の転倒予防看護質指標による<br>看護介入プログラムと実践継続システムの<br>開発 | 平松  | 知子  | 看護学部     | ¥100,    | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 抗糖尿病薬が2型糖尿病ラットの骨インプラント結合に与える影響の力学・組織学的分析         | 薗村  | 貴弘  | 解剖学Ⅱ     | ¥100,    | 000 | <b>舗</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 骨組織による血糖値調節機構の解明 -スフィンゴミエリンの重要性-                 | 岡崎  | 俊朗  | 血液免疫内科学  | ¥100,    | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| パーキンソン病の外科治療における新規手<br>術標的の実験的探索                 | 薗村  | 貴弘  | 解剖学Ⅱ     | ¥100,    | 000 | 種委            | (独)日本学術振<br>興会 |
| 応用倫理学における精神医療倫理と合意形<br>成                         | 本田  | 康二郎 | 一般教育機構   | ¥90,     | 000 | ~             | (独)日本学術振<br>興会 |
| 認知症患者の家族介護者に対する睡眠支援<br>を目的としたレスパイトケアの効果検証        | 河野由 | ∃美子 | 看護学部     | ¥100,    | 000 | <b>舗</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 正常分娩の地域分散型医療連携システム構築に向けた基盤づくり                    | 岩谷  | 久美子 | 看護学部     | ¥200,    | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 抗てんかん薬の発生毒性の再評価                                  | 坂田  | ひろみ | 解剖学 I    | ¥200,    | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 寝たきり高齢者の褥瘡予防のための圧分散<br>と寝床内環境調整を加味したシーツの開発       | 紺家  | 千津子 | 看護学部     | ¥50,     | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| スフィンゴミエリン/脂質ラフトを標的としたインプラント周囲炎の新たな予防法の開発         | 谷口  | 真   | 総合医学研究所  | ¥50,     | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 高齢患者の長期的アウトカムと費用対効果<br>をふまえた早期排尿自立支援システムの構<br>築  | 平松  | 知子  | 看護学部     | ¥100,    | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 看護系大学における新人看護教員を支える<br>メンタリングガイドブックの開発           | 池内  | 里美  | 看護学部     | ¥200,    | 000 | 補季            | (独)日本学術振<br>興会 |
| 前庭代償の新しい評価法を用いた前庭代償<br>の促進薬の開発:動物モデルを用いた研究       | 坂田  | ひろみ | 解剖学 I    | ¥100,    | 000 | 種季            | (独)日本学術振<br>興会 |
| 技術哲学の価値論的転回と実践的応用                                | 本田  | 康二郎 | 一般教育機構   | ¥100,    | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 低悪性度グリオーマのリプログラミング技<br>術を用いたエピゲノム解析              | 平田  | 英周  | 病理学 I    | ¥50,     | 000 | <b>補</b><br>委 | (独)日本学術振<br>興会 |
| 新規疾患;TAFRO症候群の確立のための研究                           | 正木  | 康史  | 血液免疫内科学  | ¥544,    | 000 | <b>補</b><br>委 | 厚生労働省          |
| -  | _   |     |          |          |     |               |                |

| エビデンスに基づいた神経免疫疾患の早期<br>診断基準・重症度分類・治療アルゴリズム<br>の確立                             | 松井 | 真   | 神経内科学   | ¥14, 777, 000 | 一種               | 厚生労働省          |
|---|----|-----|---------|---------------|------------------|----------------|
| キャッスルマン病の疫学診療実態調査と患者団体支援体制の構築に関する研究(分担)                                       | 正木 | 康史  | 血液免疫内科学 | ¥50, 000      | 御 委              | 厚生労働省          |
| キャッスルマン病の疫学診療実態調査と患者団体支援体制の構築に関する研究(分担)                                       | 川端 | 浩   | 血液免疫内科学 | ¥50, 000      | <b>(補)</b>       | 厚生労働省          |
| 難治性腎疾患に関する調査研究(分担)  | 横山 | 仁   | 腎臓内科学   | ¥600, 000     | 委<br>補<br>委      | 厚生労働省          |
| 難治性疾患の継続的な疫学データの収集・解析に関する研究(分担)   | 櫻井 | 勝   | 衛生学     | ¥300, 000     | (油)              | 厚生労働省          |
| TgG4関連疾患の診断基準並びに治療方針の確立を目指した研究(分担)  | 正木 | 康史  | 血液免疫内科学 | ¥400, 000     | (油)              | 厚生労働省          |
| 特発性大腿骨頭壊死症の疫学調査・診断基準・重症度分類の改訂と診療ガイドライン<br>策定を目指した大規模多施設研究(分担)                 | 兼氏 | 步   | 整形外科学   | ¥100, 000     | (油)              | 厚生労働省          |
| 腎臓病データベースの拡充・連携強化と包括的データベースの構築(分担)  | 横山 | 仁   | 腎臓内科学   | ¥700, 000     | 御                | 厚生労働省          |
| 全国がん登録、院内がん登録および既存が<br>ん統計情報の活用によるがん及びがん診療<br>動向把握に関する包括的研究(分担)               | 西野 | 善一  | 公衆衛生学   | ¥300, 000     | 補                | 厚生労働省          |
| 在宅医療患者等における多剤耐性菌の分離<br>率及び分子疫学解析(分担)  | 飯沼 | 由嗣  | 臨床感染症学  | ¥750, 000     | * <u>委</u> (補) 委 | 厚生労働省          |
| 循環器疾患における集団間の健康格差の実態把握とその対策を目的とした大規模コホート共同研究(分担)                              | 中川 | 秀昭  | 総合医学研究所 | ¥1, 550, 000  | 御                | 厚生労働省          |
| 社会的要因を含む生活習慣病リスク要因の<br>解明を目指した国民代表集団の大規模コ<br>ホート研究: NIPPON DATA80/90/2010(分担) | 中川 | 秀昭  | 総合医学研究所 | ¥450, 000     | 御                | 厚生労働省          |
| 統合医療情報発信サイトに関する客観的評価および統合医療に関するシステマティック・レビューの実施                               | 元雄 | 良治  | 腫瘍内科学   | ¥7, 538, 462  | 補多               | 日本医療研究開<br>発機構 |
| 脳転移がん細胞の休眠維持・破綻機構の解明と新規治療法の開発   | 平田 | 英周  | 病理学 I   | ¥6, 750, 000  | 補                | 日本医療研究開<br>発機構 |
| 適時適切な医療・ケアを目指した、認知症<br>の人等の全国的な情報登録・追跡を行う研<br>究(分担)                           | 森本 | 茂人  | 高齢医学    | ¥923, 07      | 補                | 日本医療研究開<br>発機構 |
| 新興・再興エンテロウイルス感染症の検査・診断・治療・予防法の開発に向けた研究(分担)                                    | 姫田 | 敏樹  | 微生物学    | ¥769, 23      | 補                | 日本医療研究開<br>発機構 |
| 低線量CTによる肺がん検診の実用化を目指した無作為化比較試験および大規模コホート研究(分担)                                | 薄田 | 勝男  | 呼吸器外科学  | ¥160, 000     | 補                | 日本医療研究開<br>発機構 |
| 真菌感染症の病態解明及び検査・治療法の確立に関する研究(分担)   | 望月 | 隆   | 皮膚科学    | ¥461, 539     | 補                | 日本医療研究開<br>発機構 |
| 慢性腎臓病 (CKD) 進行例の実態把握と透析<br>導入回避のための有効な指針の作成に関す<br>る研究 (分担)                    | 横山 | 仁   | 腎臓内科学   | ¥76, 924      | 補                | 日本医療研究開<br>発機構 |
| 市販後における重篤副作用(間質性肺炎、<br>横紋筋融解症、重症薬疹等)の発症要因解<br>明と安全対策に関する研究(分担)                | 梶波 | 康二  | 循環器内科学  | ¥311, 539     | 舖                | 日本医療研究開<br>発機構 |
| 重症好酸球性副鼻腔炎に対する新しい治療<br>戦略 (分担)  | 三輪 | 高喜  | 耳鼻咽喉科学  | ¥500, 000     | 補                | 日本医療研究開<br>発機構 |
| 精神疾患患者に対する早期介入とその体制<br>の確立のための研究 (分担)   | 川﨑 | 康弘  | 精神神経科学  | ¥384, 610     | 補                | 日本医療研究開<br>発機構 |
| 高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立<br>のための研究(分担)   | 野島 | 孝之  | 臨床病理学   | ¥231, 000     | 補                | 日本医療研究開<br>発機構 |
| 抗Neurofascin155抗体関連中枢・末梢神経<br>障害症候群(CCPD/CIDP)の診療ガイドライ<br>ン作成のための定量的抗体測定法の開発と | 松井 | 真   | 神経内科学   | ¥538, 462     | 補                | 日本医療研究開<br>発機構 |
| 多発性硬化症生体試料バンクを活用したア<br>ジア人特有の遺伝環境因子探索による病態<br>解明(分担)                          | 松井 | 真   | 神経内科学   | ¥650, 000     | 補                | 日本医療研究開<br>発機構 |
| 免疫性ニューロパチーの治療反応性予測に<br>基づく有効な治療戦略の構築(分担)                                      | 松井 | 真   | 神経内科学   | ¥300, 000     | 補                | 日本医療研究開<br>発機構 |
| 希少難治性脳・脊髄疾患の歩行障害に対す<br>る生体電位駆動型下肢装着型補助ロボット<br>(HAL-HN01) を用いた新たな治療実用化の        | 本田 | 康二郎 | 一般教育機構  | ¥400, 000     | 補                | 日本医療研究開<br>発機構 |
|   |    |     | 1       |               | 1 (-3            | !              |

| 本邦の先天異常発生状況の推移とその影響<br>要因に関する研究(分担)   | 森河  | 裕子           | 看護学部         | ¥153,     | 847 | 補多                            | 日本医療研究開<br>発機構      |
|---|-----|--------------|--------------|-----------|-----|-------------------------------|---------------------|
| ゲノム医療の実装に資する臨床ゲノム情報<br>統合データベースの整備と我が国の継続的<br>なゲノム医療実施体制の構築(分担)                 | 新井田 | 日 要          | 総合医学研究所      | ¥1, 538,  | 500 | 補多                            | 日本医療研究開<br>発機構      |
| 生活習慣病の発症・進展における新規ター<br>ゲットとしてのToxic AGEs(TAGE)の関与と<br>その阻止                      | 竹内  | 正義           | 先端医療研究領域     | ¥5, 789,  | 513 | 補委                            | 文部科学省               |
| カドミウム汚染地域(神通川流域、梯川流域)住民の追跡研究—カドミウム暴露に伴う生命予後と健康影響—                               | 中川  | 秀昭           | 共同利用センター     | ¥1, 739,  | 131 | 補多                            | 日本エヌ・ュー・エス<br>(環境省) |
| 超高周波の電波ばく露による眼部等の人体<br>への影響に関する定量的調査  | 佐々木 | 洋            | 環境原性視覚病態研究部門 | ¥11, 835, | 000 |                               | 総務省                 |
| からだを透かして見てみよう - 透明人間<br>できるかな?-2016   | 八田  | 稔久           | 解剖学 I        | ¥327,     | 000 | 補多                            | (独)日本学術振<br>興会      |
| 長寿のメニューってできるんけ?2016〜食品の「活性酸素」を消す力を測定しよう〜  | 島田  | ひろき          | 解剖学 I        | ¥327,     | 000 | 補委                            | (独)日本学術振<br>興会      |
| アルツハイマー病治療・予防のための可動<br>式光刺激装置   | 加藤  | 伸郎           | 生理学 I        | ¥5, 000,  | 000 | 補多                            | 名古屋大学((国研)日本医療研究    |
| 重症心不全患者に対するテイラーメイド方式心臓サポートネット開発   | 秋田  | 利明           | 心臓血管外科学      | ¥20, 937, | 000 | 補                             | 名古屋大学((国研)日本医療研究    |
| 第15回日韓糖尿病性腎症セミナー  | 古家  | 大祐           | 糖尿病・内分泌内科学   | ¥960,     | 000 | 補多                            | (独)日本学術振<br>興会      |
| 糖尿病合併症の病態形成におけるオート<br>ファジーの意義<br>(オートファジーと糖尿病合併症)                               | 古家  | 大祐           | 糖尿病・内分泌内科学   | ¥1, 200,  | 000 | 補                             | 日本私立学校新<br>興・共済事業団  |
| うつ解明に向けたストレス状態の脳で発現<br>変動する遺伝子の研究<br>(iPS細胞分化系を用いた遺伝子機能の解                       | 齋藤  | 英仁           | 生化学Ⅱ         | ¥500,     | 000 | 補<br><b>多</b>                 | 日本私立学校新<br>興・共済事業団  |
| Regulation and Function of Prdx6 in eye<br>lens during Aging & Oxidative Stress | 久保  | 江理           | 眼科学          | ¥1, 086,  | 000 | 補                             | ネブラスカ大学<br>(NIH)    |
| アナフィラキシー低血圧時における交感神<br>経抑制機構の解明   | 谷田  | 守            | 生理学Ⅱ         | ¥1, 400,  | 000 | <b>補</b><br>委                 | (一財)ニッポン<br>ハム食の未来財 |
| 国際実験生物学会2016に参加することへの<br>助成   | 谷田  | 守            | 生理学Ⅱ         | ¥200,     | 000 | <b>補</b><br>委                 | (公財)金原一郎<br>記念医学医療振 |
| アセチルコリントランスポーターおよび細胞内アセチルコリン受容体を介するアルツ<br>ハイマー病治療の戦略                            | 村松  | 郁延           | 薬理学          | ¥3, 000,  | 000 | 玄                             | (公財)喫煙科学<br>研究財団    |
| リン酸化モチーフ上のがん特異的変異のプロテオームワイド解析   | 吉崎  | 尚良           | 小児外科学        | ¥2, 000,  | 000 | <b>補</b><br>委                 | (公財)武田科学<br>振興財団    |
| 力学的ストレスを生体内で可視化する   | 平田  | 英周           | 病理学Ⅰ         | ¥2, 000,  | 000 | <ul><li>補</li><li>委</li></ul> | (公財)武田科学<br>振興財団    |
| 血糖調節における自律神経調節機構の解明<br>と糖尿病予防   | 谷田  | <del>न</del> | 生理学Ⅱ         | ¥3, 000,  | 000 | 铺<br>委                        | (公財)武田科学<br>振興財団    |
| 小胞体ストレス応答から迫る炎症性腸疾患<br>の病態解析と臨床応用   | 岩脇  | 隆夫           | 生命科学研究領域     | ¥1, 000,  | 000 | <b>補</b><br>委                 | (公財) 大和証券<br>ヘルス財団  |
| 脳転移がん細胞の休眠維持・破綻機構の解明  | 平田  | 英周           | 病理学 I        | ¥500,     | 000 | <b>舗</b> 委                    | (公財)内藤記念<br>科学振興財団  |
| スキルス胃癌の間質増生と癌性腹膜炎発症<br>機構の本態解明に基づく新規標的治療法の<br>確立                                | 安本  | 和生           | 腫瘍内科学        | ¥1, 000,  | 000 | <b>舗</b> 委                    | (公財)北國がん<br>研究振興財団  |
| 脳転移がん細胞の休眠維持・破綻の機構解<br>明  | 平田  | 英周           | 病理学 I        | ¥1, 000,  | 000 | <ul><li>補</li><li>季</li></ul> | (公財)北國がん<br>研究振興財団  |
| のと血液疾患地域包括ケア研究会   | 福島  | 俊洋           | 血液免疫内科学      | ¥300,     | 000 | <b>補</b><br>委                 | (公財)北國がん<br>研究振興財団  |
| コレーナ エリザ ヴ ェータ先生 (ロシア) の日本における消化器疾患の内視鏡診断・治療に関する研究、及び、日本の先進内視鏡施設での内視鏡検査         | 伊藤  | 透            | 消化器内視鏡学      | ¥400,     | 000 | <b>舗</b> 委                    | 内視鏡医学振興<br>財団       |
| クゾニエツォーヴァ エレーナ先生(ロシア)の日本における<br>消化器疾患の内視鏡診断・治療に関する研<br>究、及び、日本の先進内視鏡施設での内視鏡     | 伊藤  | 透            | 消化器内視鏡学      | ¥400,     | 000 | 玄                             | 内視鏡医学振興<br>財団       |
| 血管内皮の恒常性維持機構破綻がもたらす<br>臓器線維化機構の解明   | 金崎  | 啓造           | 糖尿病内分泌内科学    | ¥1, 500,  | 000 | <b>舗</b><br>委                 | 日本医師会               |
|   |     |              | <del> </del> |           |     |                               |                     |

|   |     |     | 1         |           | _   | Z. 3                          | T 11                       |
|---|-----|-----|-----------|-----------|-----|-------------------------------|----------------------------|
| カテキン投与による求心性消化器自律神経<br>系への作用                                  | 谷田  | 守   | 生理学Ⅱ      | ¥500,     | 000 | <b>一</b> 委                    | 花王健康科学研<br>究会              |
| 脳転移がん細胞の休眠維持・破綻機構の解<br>明                                      | 平田  | 英周  | 病理学Ⅰ      | ¥1, 000,  | 000 | 補季                            | かなえ医薬振興<br>財団              |
| 栄養応答シグナルの制御による2型糖尿病発症に対する治療手段の確立                              | 古家  | 大祐  | 糖尿病内分泌内科学 | ¥500,     | 000 | <b>補</b><br>季                 | ノバルティス<br>ファーマ             |
| たんぱく質制限の2型糖尿病腎症抑制効果の<br>機序の解明〜メチオニン制限と抗老化の観<br>点から〜           | 北田  | 宗弘  | 糖尿病内分泌内科学 | ¥500,     | 000 | <b>補</b><br>委                 | ノバルティス<br>ファーマ             |
| カテコール代謝不全がもたらす糖代謝異常<br>の統合的理解                                 | 金崎  | 啓造  | 糖尿病内分泌内科学 | ¥500,     | 000 | <b>補</b><br>委                 | ノバルティス<br>ファーマ             |
| 重症COPD患者血清中の分泌型マイクロRNAの<br>検討                                 | 水野  | 史郎  | 呼吸器内科学    | ¥500,     | 000 | <b>補</b><br>委                 | ノバルティス<br>ファーマ             |
| 結節性硬化症における体細胞モザイク変異の同定を含めた包括的遺伝子判断システムの開発と、新たな高次脳機能予測マーカーとしての | 新井田 | l 要 | 先端医療研究領域  | ¥500,     | 000 | <b>補</b><br>委                 | ノバルティス<br>ファーマ             |
| 陽上皮オルガノイド培養系を用いた大腸が<br>ん抑制遺伝子の機能評価                            | 武田  | はるな | 病理学 I     | ¥500,     | 000 | <b>補</b><br>委                 | ノバルティス<br>ファーマ             |
| 統合失調症患者の顔認知障害の時間 - 空間<br>的解析                                  | 川﨑  | 康弘  | 精神神経科学    | ¥500,     | 000 | 種委                            | ノバルティス<br>ファーマ             |
| 解析  | 横山  | 仁   | 腎臓内科学     | ¥500,     | 000 | <b>補</b><br>委                 | ノバルティス<br>ファーマ             |
| 腎提供者の腎移植後腎機能維持に関する検<br>討                                      | 中田  | 達朗  | 泌尿器科学     | ¥500,     | 000 | <b>補</b><br>委                 | ノバルティス<br>ファーマ             |
| 本邦の黒色真菌症から分離されたExophiala<br>jeanselmeiの菌学的ならびに分子生物学的<br>検討    | 望月  | 隆   | 皮膚科学      | ¥500,     | 000 | <ul><li>補</li><li>季</li></ul> | ノバルティス<br>ファーマ             |
| 太陽光被ばくの指標としての瞼裂斑と近視<br>の関係                                    | 佐々木 | 洋   | 眼科学       | ¥2, 000,  | 000 | <b>補</b><br>委                 | ノバルティス<br>ファーマ             |
| スルフォラファンによる抗酸化蛋白ペルオ<br>キシレドキシン6の誘導と白内障予防効果                    | 久保  | 江理  | 眼科学       | ¥1, 500,  | 000 | <b>舗</b>                      | ノバルティス<br>ファーマ             |
| 眼部紫外線被ばく量指標としての瞼裂斑程度と老視発症との関係                                 | 初坂  | 奈津子 | 眼科学       | ¥1, 000,  | 000 | <b>補</b>                      | ノバルティス<br>ファーマ             |
| 生体マウスにおいて局所微小領域の炎症を<br>捉える光レポーターの開発                           | 岩脇  | 隆夫  | 生命科学研究領域  | ¥600,     | 000 | 玄                             | 光科学技術研究<br>振興財団            |
| 小胞体ストレス応答関連分子が制御する高<br>次神経系機能の探索と分子基盤の解明                      | 岩脇  | 隆夫  | 生命科学研究領域  | ¥11, 000, | 000 | <b>通</b>                      | 公益財団法人東レ科学振興会              |
| 細胞ストレス応答反応の解析から挑む「やけ食い」の分子メカニズム                               | 岩脇  | 隆夫  | 生命科学研究領域  | ¥1, 000,  | 000 | <b>舗</b>                      | 公益財団法人食<br>生活研究会           |
| 統合失調症非罹患近親者における包括的中間表現型解析                                     | 大井  | 一高  | 精神神経科学    | ¥2, 000,  | 000 | <b>補</b>                      | (公財)上原記念<br>生命科学財団         |
| 骨格筋ホルモンによる自律神経調節機構の解明   | 谷田  | 守   | 生理学Ⅱ      | ¥1, 500,  | 000 | <ul><li>補</li><li>季</li></ul> | (公財)中冨健康<br>科学振興財団         |
| GLP1シグナルによる自律神経調節作用における視床下部ー延髄経路の解析                           | 谷田  | 守   | 生理学Ⅱ      | ¥1, 000,  | 000 | 種委                            | (公財)日本糖尿病財団                |
| サルモネラ菌感染が引き起こす宿主細胞内における小胞体ストレス応答の意義                           | 岩脇  | 隆夫  | 生命科学研究領域  | ¥1, 000,  | 000 | 種委                            | (公財)大山健康財団                 |
| 認知症および高齢うつ病患者における嗅覚機能の比較                                      | 大嶋  | 一彰  | 精神神経科学    | ¥500,     | 000 | 補委                            | (公信)松原三郎<br>記念精神医学育<br>式基金 |
| 悪性腫瘍の発生・転移においてDPP-4が演じる分子機構の解明                                | 髙垣  | 雄太  | 糖尿病内分泌内科学 | ¥1, 000,  | 000 | 種委                            | (公財)日本糖尿病財団                |
| コーヒーによるエピジェネティックな肝発<br>癌抑制メカニズム:micro-RNA解析                   | 利國  | 信行  | 肝胆膵内科学    | ¥1, 500,  | 000 | <b>補</b><br>委                 | (一財)全日本<br>コーヒー協会          |

計 211件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

- (注) 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- (注) 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、〇印を付けた上で、 補助元又は委託元を記入すること。

# (様式第3)

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

# 2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 |                        | の開発及び評価を行うこ。<br>発表者の所属 | との計画対象となる論文<br>  題名   | 雑誌名   |
|----|------------------------|------------------------|---|---|
| 1  | Y. Kawai               | 循環器内科学                 | A case of coronary rupture and pseudoaneurysm formation after fracture of implanted paclitaxel-eluting stents.  | Cardiovascular<br>intervention<br>and<br>therapeutics, 31<br>, 3, 231-237, 2016 |
| 2  | S. Takano              | 循環器内科学                 | Circulating Glutamate and Taurine Levels<br>Are Associated with the Generation of<br>Reactive Oxygen Species in Paroxysmal<br>Atrial Fibrillation               | Disease<br>Markers, 2016, 1-<br>7, 2016   |
| 3  | K.Kajinami             | 循環器内科学                 | Lipoprotein(a): Revisiting a Next<br>Therapeutic Target.  | Circulation<br>journal, 80, 2, 32<br>9-331, 2016                                |
| 4  | W.Fujita               | 循環器内科学                 | Prediction of all-cause death using (11)C-hydroxyephedrine positron emission tomography in Japanese patients with left ventricular dysfunction.                 | Annals of<br>nuclear<br>medicine, 30, 7, 4<br>61-467, 2016                      |
| 5  | M.Higashino-<br>Kameda | 呼吸器内科学                 | A critical role of Dectin-1 in hypersensitivity pneumonitis.  | Inflammation<br>Research, 65, 3, 2<br>35-244, 2016                              |
| 6  | R. Kato                | 呼吸器内科学                 | Sirt1 expression is associated with CD31 expression in blood cells from patients with chronic obstructive pulmonary disease.                                    | Respiratory<br>research, 17, 1, 1<br>39-151, 2016                               |
| 7  | <b>N</b> . Toshikuni   | 肝胆膵内科学                 | Management of gastroesophageal varices in cirrhotic patients: current status and future directions.   | Annals of<br>hepatology, 15, 3<br>, 314-325, 2016                               |
| 8  | N. Toshikuni           | 肝胆膵内科学                 | Association between transforming growth factor-β1-509 C>T variants and hepatocellular carcinoma susceptibility: a meta-analysis                                 | Neoplasma, 63, 6,<br>961-966, 2016  |
| 9  | H. Adachi              | 腎臓内科学                  | Adiponectin Fractions Influence the<br>Development of Posttransplant Diabetes<br>Mellitus and Cardiovascular Disease in<br>Japanese Renal Transplant Recipients | PLoS<br>one, 11, 10, e0163<br>899, 2016   |
| 10 | H. Yokoyama            | 腎臓内科学                  | Drug-induced kidney disease: a study of the<br>Japan Renal Biopsy Registry from 2007 to<br>2015.  | Clinical and<br>experimental<br>nephrology, 20, 5<br>, 720-730, 2016            |
| 11 | S. Tsuda               | 糖尿病・内分泌内科学             | Restoration of the Hypothalamic-pituitary-adrenal Response to Hypoglycemia in Type 2 Diabetes by Avoiding Chronic Hypoglycemia.                                 | Internal<br>medicine, 55, 23,<br>3471-3473, 2016                                |
| 12 | K. Kanasak i           | 糖尿病・内分泌内科学             |   | Diabetology<br>International,7<br>,212-220,2016                                 |

| 13 | K. Kanasak i | 糖尿病・内分泌内科学 | Concerted efforts to combat diabetic complications.   | Kidney<br>international, 8<br>9, 2, 269-<br>271, 2016  |
|----|--------------|------------|---|--|
| 14 | K. Nitta     | 糖尿病・内分泌内科学 | Oral Administration of N-Acetyl-seryl-<br>aspartyl-lysyl-proline Ameliorates Kidney<br>Disease in Both Type 1 and Type 2 Diabetic<br>Mice via a Therapeutic Regimen.  | BioMed research<br>international, 2<br>016, 9172157, 201<br>6                                  |
| 15 | M. Kitada    | 糖尿病・内分泌内科学 | The protective effect of a low-protein diet against tubulo-interstitial damage in diabetic kidneys  | Cellular &<br>Molecular<br>Medicine: Open<br>access, 2, 2, 6-<br>7, 2016                       |
| 16 | M.Kitada     | 糖尿病・内分泌内科学 | A very-low-protein diet ameliorates<br>advanced diabetic nephropathy through<br>autophagy induction by suppression of the<br>mTORC1 pathway in Wistar fatty rats, an<br>animal model of type 2 diabetes and<br>obesity. | Diabetologia, 59<br>, 6, 1307-<br>1317, 2016   |
| 17 | M.Kitada     | 糖尿病・内分泌内科学 | The protective role of Sirt1 in vascular tissue: its relationship to vascular aging and atherosclerosis.  | Aging (Albany<br>NY), 8, 10, 2290-<br>2307, 2016   |
| 18 | M.Kitada     | 糖尿病・内分泌内科学 | Rodent models of diabetic nephropathy:<br>their utility and limitations.  | International<br>journal of<br>nephrology and<br>renovascular<br>disease, 9, 279-<br>290, 2016 |
| 19 | Y.Fujita     | 血液免疫内科学    | Isolation of vascular smooth muscle antigen-reactive CD4(+) $\alpha$ $\beta$ Th1 clones that induce pulmonary vasculitis in MRL/Mp-Fas(+/+) mice.   | Cellular<br>immunology, 303,<br>50-54, 2016  |
| 20 | Y. Masaki    | 血液免疫内科学    | Proposed diagnostic criteria, disease<br>severity classification and treatment<br>strategy for TAFRO syndrome, 2015 version.  | International<br>journal of<br>hematology, 103,<br>6,686-692,2016                              |
| 21 | D. Usuda     | 臨床感染症学     | Interstitial Pneumonia in a 94-Year-Old<br>Woman with MPO-ANCA Positive Vasculitis  | Case Reports in<br>Clinical<br>Medicine, 5, 61-<br>65, 2016                                    |
| 22 | D. Usuda     | 臨床感染症学     | Validation of a B-type natriuretic peptide<br>as a prognostic marker in pneumonia<br>patients: a prospective cohort study.  | BMJ<br>open, 6, 2, e01044<br>0, 2016   |
| 23 | D. Usuda     | 臨床感染症学     | Autopsy-proven intravascular lymphoma<br>presenting as rapidly recurrent strokes  | Case reports in oncology, 9, 1, 14 8-153, 2016   |

| 24 | M. Itoh      | 小児科学   | A novel frameshift mutation in the TRPS1<br>gene caused Tricho-rhino-phalangeal<br>syndrome type I and III in a Japanese<br>family                            | pediatric endocrinology: case reports and clinical investigations : official journal of the Japanese Society for Pediatric Endocrinology, 2 5, 3, 115- 118, 2016 |
|----|--------------|--------|---|--|
| 25 | K. Ohi       | 精神神経科学 | Polygenetic components for schizophrenia,<br>bipolar disorder and rheumatoid arthritis<br>predict risk of schizophrenia                                       | Schizophrenia<br>research, 175, 42<br>738, 437-<br>446, 2016   |
| 26 | K. Ohi       | 精神神経科学 | Specific gene expression patterns of 108 schizophrenia-associated loci in cortex  | Schizophrenia<br>research, 174, 42<br>738, 35-38, 2016   |
| 27 | K. Ohi       | 精神神経科学 | The Five-Factor Model personality traits in schizophrenia: A meta-analysis.   | Psychiatry<br>research, 240, , 3<br>4-41, 2016   |
| 28 | K. Ohi       | 精神神経科学 | Structural alterations of the superior<br>temporal gyrus in chizophrenia: Detailed<br>subregional differences   | European<br>Psychiatry, 35, ,<br>25-31, 2016   |
| 29 | K. Ohi       | 精神神経科学 | Schizophrenia risk variants in ITIH4 and<br>CALN1 regulate gene expression in the<br>dorsolateral prefrontal cortex   | Psychiatric<br>Genetics, 26, 142<br>-143, 2016   |
| 30 | T. Takahashi | 放射線医学  | 18F-FDG PET/CT for Detecting Sarcoma of the<br>Aorta in a Patient with Takayasu Arteritis   | Nuclear<br>medicine and<br>molecular<br>imaging,50,2,17<br>1-172 2016  |
| 31 | N. Watanabe  | 放射線医学  | Evaluation of cytological radiation damage<br>to lymphocytes after I-131<br>metaiodobenzylguanidine therapy by the<br>cytokinesis-blocked micronucleus assay. | Annals of<br>nuclear<br>medicine., 30, 9,<br>624-628, 2016   |
| 32 | K. Ishimaru  | 循環器外科学 | An alternative technique for direct implantation of an anomalous left coronary artery arising from the pulmonary artery with complex coronary arteries.       | Journal of<br>surgical case<br>reports, 9, , 1-<br>3, 2016   |
| 33 | H. Uramoto   | 呼吸器外科学 | Accurate Diagnosis of Aortic Invasion in<br>Patients with Lung Cancer.  | Anticancer<br>research, 36, 5, 2<br>391-2395, 2016   |
| 34 | K. Usuda     | 呼吸器外科学 | Diagnostic performance of whole-body<br>diffusion-weighted imaging compared to PET-<br>CT plus brain MRI in staging clinically<br>resectable lung cancer      | Asian Pacific<br>journal of<br>cancer<br>prevention :<br>APJCP, 17, 6, 2775<br>-2780, 2016   |
| 35 | H. Uramoto   | 呼吸器外科学 | Equivalent outcome of patients with locally advanced NSCLC treated with salvage surgery compared to Induction chemotherapy followed by surgical resection     | Anticancer<br>research, 36, 8, 4<br>243-4247, 2016   |

|    | r          |           |  |   |
|----|------------|-----------|--|---|
| 36 | H. Uramoto | 呼吸器外科学    | separate the pulmonary artery in order to  | Anticancer<br>research, 36, 5, 2<br>385-2390, 2016  |
| 37 | H. Uramoto | 呼吸器外科学    | Left upper lobe double sleeve lobectomy with double barrel anastomosis for lung adenocarcinoma.  | Annals of<br>medicine and<br>surgery<br>(2012),9,12-<br>14,2016                               |
| 38 | Y. Machida | 呼吸器外科学    | Postoperative survival according to the glasgow prognostic score in patients with resected lung adenocarcinoma                         | Asian Pacific<br>journal of<br>cancer<br>prevention :<br>APJCP, 17, 10, 467<br>7-4680, 2016   |
| 39 | N. Motono  | 呼吸器外科学    | A case of empyema and a posterior<br>mediastinal abscess after an iliopsoas<br>abscess secondary to crohn's disease                    | International<br>journal of<br>colorectal<br>disease, 31, 3, 70<br>9-710, 2016                |
| 40 | K. Usuda   | 呼吸器外科学    | Pulmonary Function After Lobectomy: Video-<br>Assisted Thoracoscopic Surgery Versus<br>Muscle-Sparing Mini-thoracotomy.                | Indian Journal<br>of<br>Surgery,1,,1-<br>6,2016   |
| 41 | N. Motono  | 呼吸器外科学    | Atmospheric temperature and pressure influence the onset of spontaneous pneumothorax   | The clinical<br>respiratory<br>journal,17,,1-<br>6,2016                                       |
| 42 | M. Noguchi | 一般・消化器外科学 | Feasibility study of axillary reverse mapping for patients with clinically node-negative breast cancer.                                | European<br>journal of<br>surgical<br>oncology, 42, 5, 6<br>50-656, 2016                      |
| 43 | S.Kinami   | 一般・消化器外科学 | Local resection of the stomach for gastric cancer.   | Surgery<br>today, 47, 6, 651–<br>659, 2016  |
| 44 | S.Kinami   | 一般・消化器外科学 | Optimal settings and accuracy of indocyanine green fluorescence imaging for sentinel node biopsy in early gastric cancer.              | Oncology<br>letters, 11, 6, 40<br>55-4062, 2016   |
| 45 | M. Noguchi | 一般・消化器外科学 | Oncoplastiic breast conserving surgery:<br>Volume replacement vs. volume displacement.   | European<br>journal of<br>surgical<br>oncology, 42, 7, 9<br>26-934, 2016                      |
| 46 | K. Fuku i  | 整形外科学     | Arthroscopic correction for concomitant cam impingement in a patient with idiopathic osteonecrosis of the femoral head: A case report. | International<br>journal of<br>surgery case<br>reports, 19, 154-<br>158, 2016                 |
| 47 | K. Fuku i  | 整形外科学     | Squeaking and microcracks in a delta-delta ceramic coupling: pin-on-disc study.  | iournal of orthopaedic surgery & traumatology: orthopedie traumatologie, 26, 3, 299-304, 2016 |

| 48 | S. Ueda      | 整形外科学  | The timing of glucocorticoid-induced osteocytic cell necrosis under hypoxia  | International<br>journal of<br>clinical and<br>experimental<br>pathology, 9, 74<br>70-7475, 2016 |
|----|--------------|--------|--|--|
| 49 | K. Fuku i    | 整形外科学  | Should well-fixed uncemented femoral components be revised in infected hip arthroplasty? Report of five trial cases.                         | Journal of<br>orthopaedics, 13<br>, 4, 437-442, 2016   |
| 50 | Y. Sasagawa  | 脳神経外科学 | Rapid enlargement of an intracranial germ<br>cell tumor after gonadotropin hormone<br>therapy  | JOURNAL OF<br>CLINICAL<br>NEUROSCIENCE, 31<br>, 185-188, 2016                                    |
| 51 | T. Miyanaga  | 形成外科学  | Perifascial areolar tissue grafting for<br>treating syndactyly with bone fusion in<br>patients with Apert syndrome.                          | Journal of<br>plastic surgery<br>and hand<br>surgery, 50, 1, 40<br>-43, 2016                     |
| 52 | Y. Yasui     | 小児外科学  | Cartilage-hair hypoplasia associated with isolated hypoganglionosis: A case report.  | Congenital<br>anomalies, 52, 32<br>-34, 2016   |
| 53 | H. Yoshizaki | 小児外科学  | Comparative lipid analysis in the normal and cancerous organoids of MDCK cells.  | Journal of<br>Biochemistry, 15<br>9, 6, 573-<br>584, 2016  |
| 54 | T. Shibata   | 眼科学    | An adult case of fulminant mumps keratitis with positive viral RNA in aqueous humor detected by RT-PCR                                       | Cornea, 35, 569–<br>571, 2016  |
| 55 | M. Fukuda    | 眼科学    | In vitro and in vivo corneal effects of latanoprost combined with brimonidine, timolol, dorzolamide, or brinzolamide                         | European<br>Journal of<br>Pharmacology, 78<br>7,43-46,2016                                       |
| 56 | M. Fukuda    | 眼科学    | In vivo meaurement of human corneal impedance value  | Cornea, 35, 1305–<br>1307, 2016  |
| 57 | T. Shibata   | 眼科学    | Propolis, a constituent of honey, inhibits the development of sugar cataracts and high-glucose-induced reactive oxygen species in rat lenses | Journal of<br>Ophthalmology, 1<br>917093, 2016   |
| 58 | S. Shibata   | 眼科学    | The role of Prdx6 in the protection of cell of the crystalline lens from oxidative stress induced by UV exposure                             | Japanese<br>Journal of<br>Ophthalmology, 6<br>0, 408-418, 2016                                   |
| 59 | T. Nakamura  | 皮膚科学   | Glycyrrhetinic acid inhibits contact<br>hypersensitivity induced by trichophytin<br>via dectin-1.  | Experimental<br>Dermatology, 25,<br>299-304, 2016  |
| 60 | T.Mochizuki  | 皮膚科学   | Molecular Markers Useful for Intraspecies<br>Subtyping and Strain Differentiation of<br>Dermatophytes.                                       | Mycopathologia,<br>182, 1, 57-<br>65, 2016   |

| 61 | K. Takeda   | 皮膚科学            | Polyclonality of Trichophyton rubrum isolates in a dermatophytosis patient with multiple lesions   | Medical<br>Mycology<br>Journal, 57, 17-<br>20, 2016                            |
|----|-------------|-----------------|--|--|
| 62 | T. Sasagawa | 産科婦人科学          | Population-based study for human papillomavirus (HPV) infection in young women in Japan: A multicenter study by the Japanese human papillomavirus disease education research survey group (J-HERS)                         | Journal of<br>medical<br>virology, 88, 324<br>-335, 2016                       |
| 63 | T. Shibata  | 産科婦人科学          | Granulocyte colony-stimulating factor as a potential inducer of ovulation in infertile women with luteinized unruptured follicle syndrome  | Translational<br>Research, 171, 63<br>-70, 2016                                |
| 64 | T. Shibata  | 産科婦人科学          | Myeloperoxidase in blood neutrophils during<br>normal and abnormal menstrual cycles in<br>women of reproductive age  | International<br>Journal of<br>Laboratory<br>Hematology, 39, 1<br>69-174, 2016 |
| 65 | T. Kato     | 顎口腔外科学          | Anti-inflammatory Activity of<br>Hangeshashinto in IL-1β-stimulated<br>Gingival and Periodontal Ligament<br>Fibroblasts  | In vivo<br>(Athens,<br>Greece), 30, 3, 25<br>7-264, 2016                       |
| 66 | K. Hamada   | 消化器内視鏡学         | Findings of the margin around lesions by magnifying endoscopy with narrow-band imaging in early gastric carcinoma and intestinal metaplasia.   | Journal of<br>digestive<br>diseases, 17, 6, 3<br>77–382, 2016                  |
| 67 | T. Tsuchiya | 心血管カテーテル治療<br>学 | Clinical impact and risk stratification of<br>balloon angioplasty for femoropopliteal<br>disease in nitinol stenting era:<br>Retrospective multicenter study using<br>propensity score matching analysis.                  | SAGE open<br>medicine, 4, 1-<br>12, 2016                                       |
| 68 | S. Nakada   | 臨床病理学           | Clinicopathological differences between variants of the NAB2-STAT6 fusion gene in solitary fibrous tumors of the meninges and extra-central nervous system.  | Brain tumor<br>pathology, 33, 3,<br>169-174, 2016                              |
| 69 | N. Kurose   | 臨床病理学           | Clinicopathological analysis between IgG4-related and non-IgG4-related diseases occurring in various organs and tissues: Re-evaluation of comprehensive diagnostic criteria and usefulness of interleukin-6 immunostaining | Journal of<br>Kanazawa<br>Medical<br>University,41,7<br>6-85,2016              |
| 70 | M. Sakurai  | 衛生学             | Dietary carbohydrate intake, presence of obesity and the incident risk of type 2 diabetes in Japanese men.   | Journal of<br>diabetes<br>investigation, 7<br>, 3, 343-351, 2016               |
| 71 | M. Sakurai  | 衛生学             | Sex Differences in Associations Among<br>Obesity, Metabolic Abnormalities, and<br>Chronic Kidney Disease in Japanese Men and<br>Women  | Journal of<br>Epidemiology, 26<br>, 8, 440-446, 2016                           |
| 72 | Y. Niida    | 遺伝子医療センター       | A girl with infantile neuronal ceroid<br>lipofuscinosis caused by novel PPT1<br>mutation and paternal uniparental isodisomy<br>of chromosome 1.  | Brain &<br>development, 38,<br>7,674-677,2016                                  |
|    |             |                 |  |  |

| 73 | Y. Niida | 遺伝子医療センター | A Say-Barber-Biesecker-Young-Simpson<br>variant of Ohdo syndrome with a KAT6B 10-<br>base pair palindromic duplication: a<br>recurrent mutation causing a severe<br>phenotype mixed with genitopatellar<br>syndrome | Congenital<br>anomalies,1,1-<br>9,2016                        |
|----|----------|-----------|---|---|
| 74 | Y. Niida | 遺伝子医療センター | Angelman Syndrome Caused by Chromosomal<br>Rearrangements: A Case Report of<br>46, XX, +der (13) t (13;15) (q14.1;q12) mat, -15<br>with an Atypical Phenotype and Review of<br>the Literature                       | Cytogenetic and<br>genome<br>research, 149, 24<br>7-257, 2016 |
| 75 | Y. Niida | 遺伝子医療センター | Reply to: Uniparental disomy of chromosome<br>1 unmasks recessive mutations of PPT1 in a<br>boy with neuronal ceroid lipofuscinosis<br>type 1   | Brain & development, 39, 2, 184-185, 2016                     |

計 75 件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- (注) 2 報告の対象とするものは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実体上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- (注)3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- (注)4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

| 番号 | 発表者氏名 | 発表者の所属 | 題名 | 雑誌名 |
|----|-------|--------|----|-----|
| 1  |       |        |    |     |
| 2  |       |        |    |     |
| 3  |       |        |    |     |
| 4  |       |        |    |     |
| 5  |       |        |    |     |
| 6  |       |        |    |     |
| 7  |       |        |    |     |
| 8  |       |        |    |     |
| 9  |       |        |    |     |
| 10 |       |        |    |     |
| 11 |       |        |    |     |
| 12 |       |        |    |     |
| 13 |       |        |    |     |
| 14 |       |        |    |     |
| 15 |       |        |    |     |
| 16 |       |        |    |     |
| 17 |       |        |    |     |
| 18 |       |        |    |     |
| 19 |       |        |    |     |
| 20 |       |        |    |     |

<sup>(</sup>注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び 評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

<sup>(</sup>注) 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

<sup>(</sup>注)3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

#### (様式第3)

#### 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

### 3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

| 1 | 倫理審査委員会の設置状況     | <b>電・</b> 無 |
|---|------------------|-------------|
| 2 | 倫理審査委員会の手順書の整備状況 | 宿・無         |

- ・ 手順書の主な内容
- ・臨床における倫理方針、職業倫理要綱
- ・ 患者の権利
- ・臨床倫理の研修
- 臨床倫理問題
- ・ 高難度新規医療技術の導入
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療

③ 倫理審査委員会の開催状況

年1回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に 「有」に〇印を付けること。
  - 2 前年度の実績を記載すること。

## (2)利益相反を管理するための措置

| ① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員<br>会の設置状況 | ・無          |  |
|---|-------------|--|
| ② 利益相反の管理に関する規定の整備状況                      | <b>旬・</b> 無 |  |

## ・ 規定の主な内容

産学官連携活動における利益相反を適正に管理することを目的とし、教職員等に対し、臨床研究等を開始する前、厚生労働科学研究費補助金の交付申請書の提出前等に、利益相反自己申告書を提出することを義務付けている。申告書が提出されると、利益相反マネジメント委員会にて、利益相反に関する情報収集、分析、検討、審査が行われ、評価・報告がなされる。また、必要に応じて、モニタリングを行い、研究者が適正な臨床研究等を実施することができるよう利益相反のマネジメントを行うこととしている。

③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員 年1回 会の開催状況

## (注) 前年度の実績を記載すること。

### (3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況 年15回

- ・研修の主な内容
- ・金沢医科大学における臨床研究倫理審査申請システム説明会
- ・治験・臨床研究の倫理に関する教育研修会
- ・C-CAM臨床研究セミナー (全13回)

### (注) 前年度の実績を記載すること。

#### (様式第 4)

### 高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

#### 1 研修の内容

本院の後期臨床研修では、総合診療医(家庭医)、専門医など個々が目指すキャリアに柔軟に対応するプログラムを準備している。医師として本院で働きながら大学院への進学も可能であり、海外留学についても積極的に支援を行っている。2年間の初期臨床研修で修得した知識と技術を基礎に、各診療科に関連した学会の認定医・専門医・指導医の資格を取得した教授、准教授、講師などの強力な指導体制のもと、さらに高度な医療を身につけることを目指している。

具体的には、診療科毎に独自の研修プログラムを組んでおり、内科系・外科系で研修期間は異なる。各診療科における研修内容及び到達目標は、認定医・専門医・指導医の取得である。本院で認定医・専門医・指導医を取得できるほか、高い専門性からジェネラルフィジシャン(総合診療医)の知識・技能の習得まで、あらゆる将来の選択が可能である。後期臨床研修においてもローテート枠を設けており、また、専門科間、職種間のカンファレンスが日常的に行われている。

各診療科における①後期臨床研修プログラムの目的、②後期臨床研修プログラム修了後のコース、③時間割、研修内容と到達目標、④取得できる認定医、専門医(必要な期間)資格とその取得にかかわる概要、⑤週間スケジュール等の詳細については、本院臨床研修センターが作成する「金沢医科大学病院臨床研修プログラム」(職臨床研修医・後期臨床研修医)の冊子に示している。

なお、大学院への進学については、平成24年度から初期臨床研修医2年次からの大学院進学が可能となり、後期臨床研修医採用の魅力となっている。

(注)上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師 に対する専門的な研修について記載すること。

### 2 研修の実績

上記研修を受けた医師数 127 人

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

## 3 研修統括者

| 777.64.64.67.44.67.44 | -X \rh: 1/1 | ATT. TOUGH A-A- | rb     | u    |
|-----------------------|-------------|-----------------|--------|------|
| 研修統括者氏名               | 診療科         | 役 職 等           | 臨床経験年数 | 特記事項 |
| 梶波 康二                 | 循環器内科       | 診療科長            | 33 年   |      |
| 北山 道彦                 | 心血管カテーテル治療科 | 診療科長            | 34 年   |      |
| 坂本 滋                  | 心臓血管外科      | 診療科長            | 38 年   |      |
| 四方 裕夫                 | 末梢血管外科      | 診療科長            | 35 年   |      |
| 中村常之                  | 小児循環器内科     | 診療科長            | 22 年   |      |
| 石丸 和彦                 | 小児心臓血管外科    | 診療科長            | 15 年   |      |
| 栂 博久                  | 呼吸器内科       | 診療科長            | 36 年   |      |
| 浦本 秀隆                 | 呼吸器外科       | 診療科長            | 22 年   |      |
| 有沢 富康                 | 消化器内科       | 診療科長            | 34 年   |      |
| 堤  幹宏                 | 肝胆膵内科       | 診療科長            | 35 年   |      |
| 伊藤 透                  | 消化器内視鏡科     | 診療科長            | 33 年   |      |
| 小坂 健夫                 | 一般・消化器外科    | 診療科長            | 37 年   |      |
| 野口 昌邦                 | 乳腺・内分泌外科    | 診療科長            | 40 年   |      |
| 横山 仁                  | 腎臓内科        | 診療科長            | 36 年   |      |
| 宮澤 克人                 | 泌尿器科        | 診療科長            | 33 年   |      |
| 古家 大祐                 | 内分泌・代謝科     | 診療科長            | 34 年   |      |
| 正木 康史                 | 血液・リウマチ膠原病科 | 診療科長            | 27 年   |      |
| 松井 真                  | 神経内科        | 診療科長            | 36 年   |      |

|              |  | r  | T  |
|--------------|--|--|--|
| 脳神経外科        | 診療科長   | 37 年   |  |
| 高齢医学科        | 診療科長   | 39 年   |  |
| 腫瘍内科         | 診療科長   | 37 年   |  |
| 小児科          | 診療科長   | 29 年   |  |
| 小児外科         | 診療科長   | 35 年   |  |
| 神経科精神科       | 診療科長   | 32 年   |  |
| 心身医学科        | 診療科長   | 32 年   |  |
| 放射線科         | 診療科長   | 23 年   | 放射線診断含む  |
| 放射線治療科       | 診療科長   | 23 年   |  |
| 整形外科         | 診療科長   | 34 年   |  |
| 形成外科         | 診療科長   | 23 年   |  |
| 眼科           | 診療科長   | 30 年   |  |
| 耳鼻咽喉科        | 診療科長   | 34 年   |  |
| 頭頸部・甲状腺外科    | 診療科長   | 36 年   |  |
| 皮膚科          | 診療科長   | 35 年   |  |
| 産科婦人科        | 診療科長   | 34 年   |  |
| 麻酔科          | 診療科長   | 38 年   |  |
| リハビリテーション医学科 | 診療科長   | 30 年   |  |
| 救命救急科        | 診療科長   | 34 年   |  |
| 病理診断科        | 診療科長   | 16 年   | H29.7.1 付  |
| 感染症科         | 診療科長   | 29 年   |  |
| 歯科口腔科        | 診療科長   | 38 年   | 小児歯科、矯正歯科含む  |
| 健康管理センター     | センター長  | 33 年   |  |
| 集学的がん治療センター  | センター長  | 37 年   |  |
| 総合診療センター     | センター長  | 30 年   |  |
|              | 高齢医学科 腫瘍内科 小児科 小児外科 神経科精神科 心身医学科 放射線治療科 整形外科 形成外科 眼 科 耳鼻咽喉科 頭頸部・甲状腺外科 皮膚科 産科婦人科 麻酔科 リハビリテーション医学科 救命救急科 病理診断科 感染症科 歯科口腔科 健康管理センター 集学的がん治療センター | 高齢医学科         診療科長           腫瘍内科         診療科長           小児科         診療科長           小児外科         診療科長           神経科精神科         診療科長           心身医学科         診療科長           放射線科         診療科長           整形外科         診療科長           形成外科         診療科長           財産財産         診療科長           可頸部・甲状腺外科         診療科長           皮膚科         診療科長           水砂水分科         診療科長           水砂水急科         診療科長           水砂水急科         診療科長           水砂水急科         診療科長           歯科口腔科         診療科長           健康管理センター         センター長           集学的がん治療センター         センター長 | 高齢医学科       診療科長       39 年         腫瘍内科       診療科長       29 年         小児科科       診療科長       35 年         小児外科       診療科長       32 年         心身医学科       診療科長       32 年         放射線科       診療科長       23 年         放射線治療科       診療科長       23 年         形成外科       診療科長       34 年         形成外科       診療科長       30 年         耳鼻咽喉科       診療科長       34 年         頭頭部・甲状腺外科       診療科長       35 年         皮膚科       診療科長       34 年         麻酔科       診療科長       34 年         財命教急科       診療科長       30 年         財命教急科       診療科長       34 年         病理診断科       診療科長       34 年         病理診断科       診療科長       34 年         病理診断科       診療科長       34 年         樹角口腔科       診療科長       39 年         健康管理センター       センター長       33 年         集学的がん治療セクー       センター長       33 年 |

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている 診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

# (様式第5)

# 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

| 計画・現状の別 | 1. 計画 2. 現状    |
|---------|----------------|
| 管理責任者氏名 | 病院長 北山 道彦      |
| 管理担当者氏名 | 病院事務部事務長 山下 和夫 |

|              |             |                               | 保管場所                      | 管 理 方 法                    |                                 |
|--------------|-------------|-------------------------------|---------------------------|----------------------------|---------------------------------|
| 診療に関         | 規           | 病院日誌                          | 病院管理課                     | 【診療録】                      |                                 |
| する諸記<br>録    | 則第          | 各科診療日誌                        | 各診療科                      | 患者登録は初回来院<br>時の登録番号(7桁)を   |                                 |
|              | <u> </u>    | 処方せん                          | 薬剤部                       | 基準として、1 患者1番<br>号で生涯有効性を採用 |                                 |
|              | 則第二十二条      | 手術記録                          | 電子カルテ、看護部                 | し、1 患者の入院と外来               |                                 |
|              |             | 看護記録                          | 電子カルテ、看護部                 | の全病歴を電子媒体に<br>より保存・管理している  |                                 |
|              | の三第二        | 検査所見記録                        | 電子カルテ                     | 。<br>  診療録の利用に当た           |                                 |
|              | 項に          | エックス線写真                       | 中央放射線部                    | り、管理場所以外へ診療                |                                 |
|              | に<br>掲<br>げ | 紹介状                           | 電子カルテ                     | 録を移動すること、また<br>利用者間で診療録をま  |                                 |
|              | りる事         | 退院した患者に係る入院期間中                | 電子カルテ                     | た貸出することは「診療<br>録貸出規定」にて禁止事 |                                 |
|              | 項           | の診療経過の要約及び入院診療計画書             |                           | 項となっています。                  |                                 |
| 庁院の答         |             |                               |                           | /                          |                                 |
| 病院の管<br>理及び運 | 事規項則        | 従業者数を明らかにする帳簿                 | 病院職員課                     |                            |                                 |
| 営に関する諸記録     | 第二          | 高度の医療の提供の実績                   | 医事課                       |                            |                                 |
|              | 十二条         | 高度の医療技術の開発及び評価<br>の実績         | 医事課                       |                            |                                 |
|              | の三          | 高度の医療の研修の実績                   | 病院職員課                     |                            |                                 |
|              | の三第三項       | 閲覧実績                          | 病院管理課                     |                            |                                 |
|              | 項に掲げ        | 紹介患者に対する医療提供の実<br>績           | 地域医療連携事務課                 |                            |                                 |
|              | りる          | 入院患者数、外来患者及び調剤<br>の数を明らかにする帳簿 | 病院管理課、薬剤部                 |                            |                                 |
|              | 第規一項第       | 医療に係る安全管理のための指<br>針の整備状況      | 医療安全課                     | 本学における文章保存                 |                                 |
|              | に掲げの        | に掲げの                          | 医療に係る安全管理のための委<br>員会の開催状況 | 医療安全課                      | 規程に定められた期間、<br>施錠できる書庫にて保<br>管。 |
|              | る十事一        | 医療に係る安全管理のための職<br>員研修の実施状況    | 医療安全課                     |                            |                                 |

|  | 医療機関内における事故報告等<br>の医療に係る安全の確保を目的<br>とした改善のための方策の状況 | 医療安全課 |  |
|--|--|-------|--|
|--|--|-------|--|

|      |        |                                  | 保管場所   | 管 理 方 法                   |
|------|--------|----------------------------------|--|---------------------------|
| 病院の管 | 規則     | 院内感染対策のための指針の策<br>定状況            |  |                           |
| 理及び運 | 第一     | 院内感染対策のための委員会の<br>開催状況           | 医療安全課  | 本学における文章保存<br>規程に定められた期間、 |
| 営に関す | 条の     | 従業者に対する院内感染対策の<br>ための研修の実施状況     | 医療安全課  | 施錠できる書庫にて保<br>管。          |
| る諸記録 | 十一     | の院内感染対策の推進を目的と                   | 医療安全課  |                           |
|      | 第二項    | した改善のための方策の実施状況                  | The state of the s |                           |
|      | 項第     | 医薬品安全管理責任者の配置状<br>況              |  |                           |
|      | 号,     | 用のための研修の実施状況                     |  |                           |
|      | から     | 医薬品の安全使用のための業務<br>に関する手順書の作成及び当該 | 薬剤部  |                           |
|      | 第三旦    | 手順書に基づく業務の実施状況                   |  |                           |
|      | 号まで    | 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用     | 薬剤部  |                           |
|      | に<br>掲 | の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的と     |  |                           |
|      | げる     | した改善のための方策の実施状況<br>              |  |                           |
|      | 事項     | 医療機器安全管理責任者の配置状況                 |  |                           |
|      |        | 使用のための研修の実施状況                    |  |                           |
|      |        | 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況    | ME部  |                           |
|      |        | 医療機器の安全使用のために必<br>要となる情報の収集その他の医 | ME部  |                           |
|      |        | 療機器の安全使用を目的とした 改善のための方策の実施状況     |  |                           |

|                                       |                      |                                     | 保管場所            | 管 理 方 法                 |
|---------------------------------------|----------------------|-------------------------------------|-----------------|-------------------------|
| 病院の管理<br>及び運営に                        | 担                    | 医療安全管理責任者の配置状<br>況                  | 医療安全課           |                         |
| 関する諸記録                                | 別第                   | 専任の院内感染対策を行う者                       | 医療安全課           | 本学における文章保存規程に定められた期間    |
| , , , , , , , , , , , , , , , , , , , | 九条                   | 医薬品安全管理責任者の業務<br>実施状況               | 医療安全課           | 、施錠できる書庫にて<br>保管。       |
|                                       | <i>の</i><br><u>-</u> | 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況           | 情報管理課           |                         |
|                                       | 十三第                  | 診療録等の管理に関する責任<br>者の選任状況             | 情報管理課           |                         |
|                                       | _                    | 医療安全管理部門の設置状況                       | 医療安全課           |                         |
|                                       | 項第一                  | 高難度新規医療技術の提供の<br>適否等を決定する部門の状況      | 医療安全課           |                         |
|                                       | 号か                   | 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決          | 医療安全課           |                         |
|                                       | ら                    | 定する部門の状況                            |                 |                         |
|                                       | 第十                   | 監査委員会の設置状況                          | 医療安全課           |                         |
|                                       | 十五号ま                 | 入院患者が死亡した場合等の<br>医療安全管理部門への報告状<br>況 | 医療安全課           |                         |
|                                       | でに関                  | 他の特定機能病院の管理者と<br>連携した相互立入り及び技術      | 医療安全課           |                         |
|                                       | 掲げ                   | 的助言の実施状況                            |                 |                         |
|                                       | る事                   | 当該病院内に患者からの安全 管理に係る相談に適切に応じ         | 医療安全課           |                         |
|                                       | 項                    | る体制の確保状況                            | Land State Land |                         |
|                                       |                      | 医療安全管理の適正な実施に<br>疑義が生じた場合等の情報提      | 医療安全課           |                         |
|                                       |                      | 供を受け付けるための窓口の<br>状況                 |                 |                         |
|                                       |                      | 職員研修の実施状況                           | 医療安全課           |                         |
|                                       |                      | 管理者、医療安全管理責任者                       | 医療安全課           |                         |
|                                       |                      | 、医薬品安全管理責任者及び<br>医療機器安全管理責任者のた      |                 |                         |
| (注)「診療に                               | <del> ·</del>        | めの研修の実施状況                           | <br>            | <br> <br>  さいない 全体としての領 |

<sup>(</sup>注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理 方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載する こと。

# 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

# 〇病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

| O /F 3 F | Onino di Exo Cedi en o o o o o o o o o o o o o o o o o o |    |    |    |    |   |                          |  |
|----------|--|----|----|----|----|---|--------------------------|--|
| 計画・現状の別  |  |    |    |    |    |   | 1. 計画 ②. 現状              |  |
| 閲        | 覧  | 責  | 任  | 者  | 氏  | 名 | 診療情報担当副院長 栂 博久 (診療記録)    |  |
| 閲        | 覧  | 担  | 当  | 者  | 氏  | 名 | 医事課 診療情報担当課長 山野 清一(診療記録) |  |
| 閲        | 覧の:  | 求め | に加 | 古じ | る場 | 計 | 医事課(診療情報担当)事務室内          |  |

# 閲覧の手続の概要

電子カルテシステム稼働(平成12年)以前の紙の診療録の貸出しは、貸出日の前日までに貸出依頼票を提出し、医療情報部長の許可を受けて行ないます。

貸出期間は2日以内ですが、死亡患者については7日以内となっています。

当該患者の診療のため診療録が必要となった場合を除き診療録の閲覧場所は情報管理課事務室内で行ないます。

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に〇印を付けること。

# ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

| 前年度の総 | 閲 覧 件 数 | 延 0 件 |
|-------|---------|-------|
| 閲覧者別  | 医 師     | 延 0 件 |
|       | 歯 科 医 師 | 延 0 件 |
|       | 国       | 延 0 件 |
|       | 地方公共団体  | 延 0 件 |

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

# 規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

#### (1)医療に係る安全管理のための指針の整備状況

(**a**) • 無

・ 指針の主な内容:

医療事故防止に関する安全管理体制の指針(以下「指針」という。)は 医療事故防止に関する安全管理体制、安全管理体制に関する関係規程及び 医療事故防止に関する共通及び部門マニュアルの2部構成をとっている。 指針は、医療事故防止に関する病院の方針、用語の定義、医療事故の防止 体制、医療事故発生時の対応、インシデントレポートに関する基本事項、医 療事故防止規程・マニュアルの整備、医療事故防止に関する職員の研修、患者暴力行為への対応、安全管理体制に関する組織図等、医療事故報告書様式など医療事故防止に係る基本的事項を収載している。

#### 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況

- 設置の有無( (有)・無 )
- 開催状況:年 24回
- 活動の主な内容:

\*医療安全対策小委員会:月1回開催(第3水曜日) 医療安全対策小委員会は医療安全管理室長を委員長に配し、医療安全管理者、内科系・外科系・小児科・麻酔科医師、看護師、薬剤師、医療技術職員及び事務職員で構成され、医療安全管理者が決めたテーマや各部門に共通するようなインシアンド事際と開発して事の検討を行う。小会長の は、インシデントに至る状況、要因、影響等について、徹底的に分析・検討し、改善策や再発防止対策を洗い出す。また、その結果を医療安全対策委員会に小委員会からの事例報告として報告・選案・注意喚起するととも に、システムの改善で防止できるものであれば担当部署に委員会として改 善を要望する。

\*医療安全対策委員会:月1回開催(第4火曜日)

医療安全対策委員会は各部門・各部署の部門リスクマネージャー(病棟 医長、部長、看護師長、技師長、課長相当職)で構成されている。インシ デント情報の収集結果、状況別・原因別集計表及び医療安全対策小委員会 から報告されるインシデント事例の分析・検討結果及び改善策、医療問題 から報告されるインシデント事例の分析・検討結果及び改善策、医療問題 検討委員会で検討された医療事故に関してそれぞれの部門・部署に周知す ると共に情報を共有し、事故の防止に努める。さらに、診療科、病棟、薬 剤部、ME部他関連する部署のスタッフが、それぞれの部署でのインシデント事例について、それぞれの職種の立場を超えて分析・検討するインシ デント分析検討会を定期的に行っており、その内容について毎回2グルー プづつ代表者が報告する。他に指針・マニュアルの改正、医療安全院内ラ ウンド、全体職員・リクスマネージャー研修会、医療安全アンケート、そ の他医療安全に係る事項についての密議・結果報告を行う

の他医療安全に係る事項についての審議・結果報告を行う。 委員会の議事録及び資料は、各委員及び全リスクマネージャーに配付し 所属職員全員に周知するよう回覧を行い、読んだ者はサインするようにしている。他に、電子カルテ上とイントラネット「病院職員のページ」にも 委員会の議事録を掲載している。

# ③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 2 回

- ・ 研修の主な内容:
  - 1) 口腔の知識と口腔ケア
  - 2) チームで取り組む せん妄の予防と対応
- ④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施 状況
  - ・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( む・無 )
  - ・ その他の改善のための方策の主な内容:

医療安全管理者が、医療事故報告書とインシデントレポートの報告内容を確認するため現場状況調査を行い事象の分析を通して問題点を把握する。また、各部署より医療安全に関する業務改善計画を年3回(①初期計画(5月)、②中間報告(10月)、③最終評価(3月))提出してもらい、その都度評価と改善策の検討を行っている。 さらに、院内ラウンドとリスクマネージャーカンファレンスを実施し、各部署から提出された業務改善計画の実施状況の確認を行っている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

# 規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

| 1 | 院内感染対策のための指針の策定状況 | 旬・無 |
|---|-------------------|-----|

- ・ 指針の主な内容:
- 1. 院内感染に対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策のための委員会およびその他組織に関する基本的事項 3. 院内感染対策のための職員等に対する研修に関する基本方針
- 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針
- 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針
- 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針
- 7. その他院内感染対策推進のために必要な基本方針

# ② 院内感染対策のための委員会の開催状況

年12回

- 活動の主な内容:
- 1. 院内感染事例への対応に関する事項
- 2. サーベイランスデータに基づく、院内感染症発生状況の把握と対策に関する事項 3. 抗菌薬適正使用に関する事項
- 4. 院内感染対策に係る緊急事態(重大な感染事例発生等)への対応に関する事項
- 5. 院内感染防止対策に係る教育啓発に関する事項
- 6. 感染対策マニュアルの改訂に関する事項
- 7. その他、院内感染防止対策に関する協議検討報告事項

# ③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況

年 9回

研修の主な内容:

# 【全職員対象】

- [当院における院内感染対策の課題と対応策] 1)
- 「周術期感染予防対策

# 【新採用者対象】

- 1) 全員「新入職員オリエンテーション」
   2) コメディカル対象
- 3) 研修医対象
- 4) 新人看護職員研修

#### 【その他】

- 1) 帰局職員及び中途採用者対象
- 2) リンクナース勉強会 3) 清掃委託業者「大学病院における環境清掃のポイント」「N95マスク装着実習」

#### ④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

病院における発生状況の報告等の整備

( 旬・無 )

- その他の改善のための方策の主な内容:
- 1. 感染症事例の情報の感染制御室への集約と、迅速な現場への指示および実施状況の確認。 2. 毎週全病棟対象のICTラウンドラウンドの実施による感染対策遵守状況の確認と改善のための助言。
- 3. 感染症サーベイランスの導入と関係部署への定期的なフィードバック。
- 4. 耐性菌サーベイランスの実施によるアウトブレイクの早期発見、感染症患者に対する感染対策の指示
- 5. すべての職業感染事例に対する対応と予防対策への助言、針刺し防止器材の積極的な導入と評価。
- 6. 病院職員を対象とした、ワクチン接種、抗体価測定 7. 月例の感染対策上問題となった事例の報告と全部署への周知徹底
- 8. 全職員対象の感染対策講演会の他、職種別、部署別など様々な教育啓発活動の実践。

# (注) 前年度の実績を記入すること。

# 規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る 措置

| 1 | 医薬品安全管理責任者の配置状況            | 御・無  |
|---|----------------------------|------|
| 2 | 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 | 年 3回 |

- ・ 研修の主な内容:
  - 1) 医薬品安全管理
- 2) 麻薬及び向精神薬の取り扱い
- 3) 帰局職員及び中途採用者を対象とした医薬品安全管理研修
- ③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況
  - 手順書の作成

( ( ( ) + 無 )

業務の主な内容:

各担当者が以下の項目について手順書に基づき業務の実施状況の確認を行っている。

- ・医薬品の採用・購入に関する事項
- ・医薬品の管理に関する事項(麻薬等の管理方法等)
- ・患者の持参薬歴情報の収集方法
- ・処方箋の記載方法

- ・調剤方法及び監査方法 ・患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 ・医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項 ・他施設(病院等、薬局等)との連携に関する事項
- ④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その 他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況
  - 医薬品に係る情報の収集の整備

( 宿・無 )

その他の改善のための方策の主な内容:

PMDA(医薬品医療機器総合機構)メディナビへの登録、メーカー別添付文書集の最新版を常時収集、インターネット(メーカー・卸)、MR・MSより紙ベースで情報収集(添付文書改訂時)等からの情報を医薬品情報として各部署、医局へメール配信し、情報を見た確認印又はサインを記入した表書きを薬剤部医薬品情報管理室へ返却、保管している。(返却がない場合は督 促を行う。)

(注)前年度の実績を記入すること。

# 規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

| 1 | 医療機器安全管理責任者の配置状況            | 御・無     |
|---|-----------------------------|---------|
| 2 | 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 | 年 6 2 回 |

#### ・ 研修の主な内容:

機器研修はH19.3.30医政局通知(有効性、安全性、使用方法、保守,不具合時の対応、法令上の遵守事項。2回/年)に従い行っている。人工呼吸器等の主要ME機器については医療安全部、看護部、ME部(当院の機器管理部門)等が協力,連携し機器研修を実施している。(平成28年度の機器毎の研修等の実施回数 62回、参加延べ人数約791名)

# ③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

- 医療機器に係る計画の策定
- ( 宿・無 )
- ・ 保守点検の主な内容:

人工心肺装置、補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動器、保育器、高エネルギー放射線装置、診療用放射線照射装置及びその他主要ME機器の年間点検計画を策定し機器マニュアル、メーカー指示(点検内容、頻度)に従って各機器のチェックシートを作製し臨床工学技士が通常点検を実施している。また人工呼吸器は通常点検に加えてメーカー推奨の使用時間毎にメーカー定期点検を実施している

- ④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況
  - 医療機器に係る情報の収集の整備

( 御・無 )

その他の改善のための方策の主な内容:

機器メーカー、臨床工学技士会、機器等納入業者及び医薬品医療機器総合機構 (PMDA) のホームページ、またはPMDAからのメール配信サービスより各種関連情報を入手し関連部門へメール、通達回覧し、必要時には担当胚技士及びメーカーSEにより直接、当該部門で改善指導を行っている。全体に関わる事案については医療安全委員会議(各部門リスクマネージャ全員出席)で報告、説明、注意喚起等を実施している。また機器管理部門(当院ではME部)では定期的に部内で機器保守管理検討会を実施し医療機器の効果的な保守点検管理に努めている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

# 規則第9条の23第1項第1号から第15号に掲げる事項の実施状況

| ① 医糖                   | 療安全管理責任者の                                       | つ配置状況                      |                      |                               |                                  | 御・無   |
|------------------------|---|----------------------------|----------------------|-------------------------------|----------------------------------|---|
| <ul> <li>医療</li> </ul> | 者の資格( <mark>医師</mark> ・<br>安全管理責任者に<br>安全管理責任者の | よる医療安全                     | 全管理部                 | 門、医療安全管                       | 理委員会、医薬品                         | 品安全管理責任者及び医   |
| ている。<br>クマネ<br>実施し     | 。医療安全部には<br>ージャー等が所属<br>、院内における医<br>題検討委員会の副    | 、医療安全管<br>しており、医<br>療安全対策に | 管理者、<br>医療安全<br>こ対する | 医薬品安全管理<br>管理責任者が中<br>取組の評価を行 | 責任者、医療機器<br>心となり、週1回<br>っている。また、 | 医療安全部長を兼務し<br>常安全管理者、兼任リス<br>可程度カンファレンスを<br>医療安全対策委員会、<br>季事項等について審議し |
| ② 専任                   | 壬の院内感染対策を                                       | を行う者の配                     | 置状況                  |                               |                                  | 旬 ( 2名)・無   |
| ③ 医乳                   |   | 者の業務実施                     | 状況                   |                               |                                  |   |
| • 医薬                   | 品に関する情報の  | 整理・周知に                     | _関する                 | 業務の状況                         |                                  |   |
| 1                      | . 医薬品の安全使                                       | 用に関わる手                     | 三順書の                 | 作成、改訂                         |                                  |   |
| 2                      | . 従業者に対する                                       | 医薬品の安全                     | 全使用の                 | ための研修会の                       | 実施                               |   |
| 3                      | . 医薬品の業務手                                       | 順書に基づく                     | 業務実                  | 施内容の確認と                       | 改善策の実施                           |   |
| 4                      | . 医薬品の安全使                                       | 用のために必                     | 必要とな                 | る情報の収集                        |                                  |   |
| 5                      | . その他の医薬品                                       | の安全確保の                     | )目的と                 | 改善策の実施                        |                                  |   |
| ・未承                    | 認等の医薬品の使  | 用に係る必要                     | 更な業務                 | の実施状況                         |                                  |   |
| 1                      | . 医薬品安全使用                                       | のための業務                     | ちに資す                 | る情報の整理、                       | 周知及び当該周知                         | 口状況の確認  |
| 2                      | . 未承認新規医薬                                       | 品の使用状況                     | 兄の把握                 | のための体系的                       | な仕組みの構築                          |   |
| 3                      | . 未承認新規医薬                                       | 品の使用の必                     | / 要性等                | の検討の状況の                       | 確認、必要な指導                         | 掌、結果の共有   |
| 4                      | . 上記の措置を適                                       | 切に実施する                     | らための                 | 担当者の定め                        |                                  |   |
| ・担当                    | 者の指名の有無(  | 衝・無)                       |                      |                               |                                  |   |
| <ul><li>担当</li></ul>   | 者の所属・職種:  |                            |                      |                               |                                  |   |
| (所属                    | :薬剤部 ,職種  | 薬剤師                        | )                    | (所属:                          | ,職種                              | )   |
| (所属                    | : ,職種   |                            | )                    | (所属:                          | ,職種                              | )   |
| (所属                    | : , 職種  |                            | )                    | (所属:                          | ,職種                              | )   |
| (所属                    | : ,職種   |                            | )                    | (所属:                          | ,職種                              | )   |

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況

御・無

- ・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する 規程の作成の有無 ( 旬・無 )
- ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 説明と同意は口頭での説明と同時に文章(同意書)で明示し、医療側及び患者側の双方で確認・ 保管する。説明には担当看護師が立会し同意書に署名する。さらに、重要な説明には、医師、看護 師とは異なる立場の医療関係者が立ち会う、また、患者の代理人の同席を認める。

# ⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

**旬**・無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容:

診療記録及び電子カルテシステム等の診療における適正な運用管理を行う。また、臨床指標作成、 分析、評価を行う。

# ⑥ 医療安全管理部門の設置状況

**金**·無

- ・所属職員:専従(9)名、専任( )名、兼任(8)名
  - うち医師: 専従() 名、専任() 名、兼任(4)名
  - うち薬剤師:専従(1)名、専任()名、兼任(1)名
  - うち看護師: 専従(2)名、専任()名、兼任(1)名
  - うち放射線技師:専従()名、専任()名、兼任(1)名
  - うち臨床工学技士:専従()名、専任()名、兼任(1)名
  - うち保安員:専従(2)名、専任( )名、兼任( )名
  - うち事務:専従(4)名、専任()名、兼任()名
- (注)報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること
- ・活動の主な内容:
  - 1. 各部門の医療安全対策の実施状況の評価を行い、業務改善計画書を作成する。計画書に基づく 実施状況及び評価結果を記録し保管を行う。
  - 2. 院内医療安全の推進に係る医療安全対策委員会、医療安全対策小委員会、医療問題検討委員会、医療事故調査委員会等で用いられる資料及び議事録の作成保存、庶務に関すること。
  - 3. インシデント及びアクシデントレポート等に関する集計・分析・調査を行い、医療事故防止のための改善策の策定・実施及び周知を行う。

- 4. 医療事故発生時の対応及び原因究明、診療情報の記載が適切に実施されていることを確認す ると共に指導を行う。
- 5. 院内ラウンドを実施して、医療安全に関する周知状況の調査及び部署の改善事項について必 要な指導を行う。
- 6. 医療安全管理体制を確保するための職員研修の企画・運営を行い、実績を記録する。また、 職員の医療安全向上状況に関する意識の認識についてモニタリングを平時から行う。
- 7. 医療安全対策委員会の構成員及び必要に応じて各部門の医療安全管理の担当者等を参加させ て医療安全対策の取組に係る評価等を行うカンファレンスを週1回程度開催する。
- 8. 医療安全管理部門の構成員による医療安全対策推進に関するカンファレンスを週1回程度開 催する。
- 9. 医療安全相談に関し、患者等の相談件数及び相談内容、相談後の取扱いを記録する。
- 10. 医療の安全に関する最新情報及び警鐘事例について、職員へ周知を行う。
- 11. その他、医療安全対策の推進に係る指導と連絡調整等に関すること。
- ※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。
- (7) 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無( 句・無 )
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療 技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無(旬・無)
- ・活動の主な内容:
  - 1. 申請内容を確認し評価委員会に対して当該高難度新規医療技術の提供の適否及び実施を認め る条件等について意見を求める。
  - 2・評価委員会の意見を踏まえ、当該高難度新規医療技術の提供の適否等について決定し、申請 者に対しその結果を通知する。
  - 3. 提供された高難度新規医療技術を定期的に確認し、患者が死亡又は重篤な合併症を発症した 場合に診療録等の記載内容を確認する。
  - 4. 高難度新規医療技術が適正な手続きに基づいて提供されていたかどうか、従業者の遵守状況 を確認し管理者に報告する。
  - 5. 関係する資料、記録を5年間保存する。

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無( 旬・無 )
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無( 旬・無 )
- ⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無(句・無)
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療 技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無( **む**・無 )
- ・活動の主な内容:
  - 1. 申請内容を確認し評価委員会に対して当該未承認新規医薬品等を用いた医療の提供の適否及び実施を認める条件等について意見を求める。
  - 2・評価委員会の意見を踏まえ、当該未承認新規医薬品等を用いた医療の提供の適否等について 決定し、申請者に対しその結果を通知する。
  - 3. 提供された未承認新規医薬品等を用いた医療を定期的に確認し、患者が死亡又は重篤な合併 症を発症した場合に診療録等の記載内容を確認する。
  - 4. 未承認新規医薬品等を用いた医療が適正な手続きに基づいて提供されていたかどうか、従業者の遵守状況を確認し管理者に報告する。
  - 5. 関係する資料、記録を5年間保存する。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無( 旬・無 )
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 ( む・無 )
- ⑨ 監査委員会の設置状況

**旬**・無

- ・監査委員会の開催状況:年1回
- ・活動の主な内容:
  - 1. 管理者に、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療安全管理部門及び医療安全管理関連委員会が行う業務の管理の状況について、報告を求め、その内容について確認を行う。
  - 2. 医療安全の確保のために必要な対応内容について確認を行う。
  - 3. 管理者に対し、是正措置を講ずるよう意見を述べる。
- ・監査委員会の業務実施結果の公表の有無( 旬・無 )
- ・委員名簿の公表の有無( 旬・無 )
- ・委員の選定理由の公表の有無( 旬・無 )

# ・公表の方法:

病院のホームページに掲載

監査委員会の委員名簿及び選定理由(注)

| J  | 氏名 | 所属                                       | 委員長    | 選定理由          | 利害関係 | 委員の要件 |
|----|----|--|--------|---------------|------|-------|
|    |    |  | (○を付す) |               |      | 該当状況  |
| 山崎 | 光章 | 富山大学附属<br>病院<br>麻酔科教授<br>(医療安全担<br>当副院長) | 0      | 医療安全業務<br>従事者 | 有・無  | 1     |
| 鵜澤 | 岡川 | 金沢大学大学<br>院法務研究科<br>准教授                  |        | 法律学業務<br>従事者  | 有・無  | 1     |
| 市川 | 政枝 | 金沢星稜大学<br>人間科学部<br>元非常勤講師                |        | 医療を受ける者       | 有・無  | 2     |

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
  - 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
  - 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
  - 3. その他

- ⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況
- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況:年378件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況:年45件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

院内における医療安全管理対策を総合的に立案及び実施するため、各部門の安全管理のための責任者で構成される。院内で発生した医療事故、及び全死亡例の検証等を行い報告が適切に行われているかを確認し、その結果を病院長へ報告する。月2回開催されるとともに、重大な問題が発生した場合は適宜開催される。

# ⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り( 句 (病院名:東京医科大学病院)・無)
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ( 句 (病院名:東京医科大学病院)・無)
- ・技術的助言の実施状況
  - ※専従医師を配置すること。

⇒平成30年4月1日に医療安全管理室へ専従医師の配置を予定している。

# ② 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者相談業務に関する事務取扱要領を整備し、相談内容に応じて「受診相談窓口」、「医療福祉相談窓口」、「医療安全相談窓口」、「計算窓口」の4つ窓口で対応を行っている。それぞれの窓口の各担当部署、設置場所、担当者についてのポスターを院内10箇所の掲示板に表示している他、入院案内パンフレット、病院ホームページ等にも明記している。

# ③ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無( む・無 )
- ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方 策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無 ( **旬**・無 )
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無( 句・無 )

- ⑭ 職員研修の実施状況
- ・研修の実施状況
  - 特定機能病院承認要件見直しの内容解説及び自院での対応状況についての研修会を実施 (インシデント・アクシデントの 報告ルール、全死亡例の報告、死亡以外一定以上の事例の報告、 内部通報窓口)
- ⑤ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修 の実施状況
- ・研修の実施状況

医療安全研修会(医師会開催)、医薬品安全管理責任者講習会、

医療機器安全基礎講習会

(注)前年度の実績を記載すること(⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

# (様式第 7)

# 専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類(任意)

| 1 病院の機能に関する第三者による評価                          |                       |
|--|-----------------------|
| ① 病院の機能に関する第三者による評価の有無                       | <b></b> ・無            |
| ・評価を行った機関名、評価を受けた時期                          |                       |
| 病院機能評価機構、平成24年1月22日認定                        |                       |
| <br>(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評(<br>と。 | 西機構等による評価がある <b>こ</b> |
| 2 果たしている役割に関する情報発信                           | _                     |
| ① 果たしている役割に関する情報発信の有無                        | <b>金・無</b>            |
| ・情報発信の方法、内容等の概要                              |                       |
| 病院の理念、基本方針や自院の役割、診療機能等を病院広報誌やホー<br>る。        | ムページで情報発信してい          |
| 3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制                        |                       |
| ① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無                     | <b>一・無</b>            |
| ・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要                      |                       |
| 電子カルテによる診療科の他科外来への対診依頼体制                     |                       |
|  |                       |

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人金沢医科大学病院 理事長 髙島 茂樹

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

- 1. 管理職員研修(医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け)を実施するための予定措置
  - ・管理者、医療安全管理責任者は、特定機能病院管理者研修会受講予定(主催:日本医療機能評価機構)
  - ・医薬品安全管理責任者は、

医薬品安全管理責任者講習会受講済(主催:日本病院薬剤師会)

- ・医療機器安全管理責任者は、医療機器安全基礎講習会受講済(主催 公益社団法人 日本生体医工学会 、公益社団法人 医療機器センター)
- 2. 医療安全管理部門の人員体制

| ۷. | 区原女主旨垤印门00八員体问                |
|----|-------------------------------|
|    | 所属職員:専従(9)名、専任( )名、兼任(8)名     |
|    | うち医師:専従()名、専任()名、兼任(4)名       |
|    | うち薬剤師:専従(1)名、専任( )名、兼任(1)名    |
|    | うち看護師:専従(2)名、専任( )名、兼任(1)名    |
|    | うち放射線技師:専従()名、専任()名、兼任(1)名    |
|    | うち臨床工学技士:専従( )名、専任( )名、兼任(1)名 |
|    | うち保安員:専従(2)名、専任( )名、兼任( )名    |
|    | うち事務:専従(4)名、専任()名、兼任()名       |
|    |                               |

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

平成30年4月1日に専従医師1名を配置予定。(人員確保済)